

# シラバス（授業計画）

（ 夜 間 部 ）

2 0 2 4



名古屋文化学園保育専門学校

# 目 次

## 【夜間部】

社会学	1	教育課程総論	33	あそびと運動Ⅱ	65
日本語表現	2	教育方法論（午後）	34	こどもと音楽Ⅰ	66
自然科学概論	3	教育方法論（夜間）	35	こどもと音楽Ⅱ	67
日本国憲法	4	教育相談	36	こどもと音楽Ⅲ	68
情報機器演習	5	教育実習Ⅰ	37	こどもと音楽Ⅳ	69
一般英語	6	教育実習事前事後指導Ⅰ	38	表現技術演習（身体）	70
体育講義	7	教育実習Ⅱ	39	保育実習Ⅰ（児童福祉施設）	71
体育実技	8	教育実習事前事後指導Ⅱ	40	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）	72
野外活動	9	教職実践演習	41	保育実習Ⅰ（保育所）	73
こどもと健康（午後）	10	保育原理Ⅰ	42	保育実習指導Ⅰ（保育所）	74
こどもと健康（夜間）	11	保育原理Ⅱ	43	保育実習Ⅱ	75
こどもと人間関係	12	子ども家庭福祉	44	保育実習指導Ⅱ	76
こどもと環境（午後）	13	社会福祉	45	保育実践演習	77
こどもと環境（夜間）	14	子ども家庭支援論	46		
こどもと言葉（午後）	15	社会的養護Ⅰ	47		
こどもと言葉（夜間）	16	子ども家庭支援の心理学Ⅰ	48		
こどもと表現	17	子ども家庭支援の心理学Ⅱ	49		
保育指導法総論	18	子どもの保健	50		
健康指導法（午後）	19	子どもの食と栄養	51		
健康指導法（夜間）	20	乳児保育Ⅰ	52		
人間関係指導法	21	乳児保育Ⅱ	53		
環境指導法（午後）	22	子どもの健康と安全	54		
環境指導法（夜間）	23	障がい児保育	55		
言葉指導法	24	社会的養護Ⅱ	56		
表現（音楽）指導法	25	児童文化	57		
表現（造形）指導法	26	子育て支援	58		
教育原理	27	音楽基礎	59		
教職概論（午後）	28	ピアノ実技Ⅰ	60		
教職概論（夜間）	29	ピアノ実技Ⅱ	61		
教育心理学（午後）	30	基礎造形	62		
教育心理学（夜間）	31	あそびと造形	63		
幼児の特別支援教育	32	あそびと運動Ⅰ	64		

保 育 科

夜 間 部



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会学			担当教員	龍 祐吉		
全体目標	・人間の社会的行為と関連付けながら社会生活・社会組織・社会問題等の仕組みを明らかにする。						
一般目標	・社会生活・社会的組織・社会問題等をよりよく理解するために身近な事例を通じて有用な社会学の基本的な理論や概念を学び、人間の行為に影響を及ぼす社会的事象の理解を深める。						
到達目標	・身の回りに生じている人間の行為の意味を社会生活・社会的組織・社会問題から理解できる。 ・社会的な課題や問題について主体的に考えるために必要な論理的な思考や分析力(資料読み取り能力)を身に着ける。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	社会学で学ぶこと。家族の機能(養育・社会化)			事前学習 事後学習	身近な社会問題に注意を向ける 振り返りシートの作成と提出	
	②	家族の機能(養育と社会化)			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	③	恋愛と好意			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	④	結婚(配偶者の選択)			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑤	結婚の多様化(同性婚, 事実婚等, 夫婦別姓)			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑥	離婚、ステップファミリー			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑦	家族の機能不全(虐待・マルトリートメント)			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑧	子どもの貧困の抱える諸問題			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑨	妊娠・出産・少子化(少子化の現状と課題)			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑩	高齢化した社会の現状・高齢者介護と支援			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑪	産業構造の変化が社会全体にもたらしたこと			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑫	ジェンダー(GLBT)・人としての尊厳を守る			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑬	出産補助技術と親子関係			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
	⑭	社会における依存症の理解			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出	
⑮	筆記試験・まとめ			事前学習 事後学習	配布資料を読む 振り返りシートの作成と提出		
学習上の留意点	1 配布資料は必ず目を通すこと。 2 授業内容と関連する事柄について興味や関心を抱くこと。 3 グループワークには意欲的に取り組むこと。						
成績評価の方法	定期試験 60% レポート・受講態度 40%			教科書	教科書は使用しない。 講義用の資料を授業にて配布する。		
				参考資料	岩本茂樹(2015) 自分を知るための社会学入門 中央公論新社 岩間曉子・大和礼子・田間泰子(2022) 問いからはじめる家族社会学(改訂版) 有斐閣 筒井淳也・前田泰樹(2017) 社会学入門 有斐閣		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本語表現			担当教員	矢野 桂子	小中学校教員(国語)として実務経験有	
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、豊かな日本語表現ができる力をつける。						
一般目標	日本語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介・スピーチ・朗読・小論文発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。</li> <li>四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、日本語表現に活かす意欲を持つ。</li> <li>自分の幼時の言葉に関するエピソードを知るとともに、幼児の話し言葉に関心をもつ。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 授業計画	学習上の留意事項	スピーチの目的と方法を知る	事前学習	シラバスから学習内容を知る		
		教科書活用について	自己紹介	事後学習	教科書を概観する		
	② 文字を正しく書く	字源を知る[漢字・平仮名・片仮名]	事前学習	自分の姓名の由来を調べる			
		漢語・和語・外来語の表記を理解する	事後学習	興味を持った文字を調べる			
	③ 文章表現	(1) 手紙(礼状)はがきの書き方を知る	事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる			
		用件が伝わる表現を考える	事後学習	実習の礼状の下書きをする			
	④ 文章表現	(2) 実習の礼状の下書きを添削しあう	事前学習	季節にあった時候の挨拶を考える			
		封書・返信はがきなどのマナーを知る	事後学習	機会を捉え学習したことを実践			
	⑤ 豊かな会話表現	(1) 敬語を使う 時・場・相手に応じた言葉遣いを考える	事前学習	敬語に関して迷うことを振り返る			
		具体例で演習	事後学習	相手意識を持って話す			
	⑥ 豊かな会話表現	(2) 敬語に関する疑問を話し合う	事前学習	敬語を意識した会話に留意する			
		敬語の練習問題を解く	事後学習	敬語を使った会話を心掛ける			
	⑦ 豊かな会話表現	(3) 成語の成り立ちと意味・活用を考える	事前学習	好きな成語を見つける			
		成語を使って短文を作り発表し合う	事後学習	会話に成語を活かす			
⑧ 豊かな会話表現	(4) 四季に関することばを会話に生かす	事前学習	季節感あることばを探す				
	二十四節気・七十二候・5節句を知る	事後学習	季節感と表現に関心を持つ				
⑨ 小論文を書く	(1) 共通テーマ「幼児の育ちと言葉」	事前学習	テーマに関して気付いた事をメモ				
	各自のテーマを決め、構成メモを作る	事後学習	記述内容を考える				
⑩ 小論文を書く	(2) 構成メモをもとに記述する	事前学習	構成メモを見直す				
	読み手に分かりやすい表現を工夫する	事後学習	校正する				
⑪ 小論文を書く	(3) テーマに関する意見を発表する	事前学習	発表準備をする				
	意見について話し合う	事後学習	諸記録等に段落を意識して書く				
⑫ 感性にふれる	子どもの詩・子どもについての論評等から	事前学習	幼児の「つぶやき」に留意する				
	こどもの表現と心について考える	事後学習	幼児のことばから心にもふれる				
⑬ スピーチ	(1) テーマ「自分を見つめて」原稿を書く	事前学習	自分の内面を見つめる				
		事後学習	原稿の校正をする				
⑭ スピーチ	(2) スピーチ	事前学習	スピーチ練習				
	教科書をもとに既習事項について質疑	事後学習	学習内容の確認・復習				
⑮ 試験	(筆記・意見文) 講評	事前学習	総合演習				
		事後学習	資料整理				
学習上の留意点	<p>学びあう時間を充実させ、幼児の育ちに関わる自信と誇りが持てるように、ことばで表現する力を磨こう。          ・よく聴き、よく考え、はっきり話す。 ・資料をしっかりと読む。 ・文字を丁寧に書く。 ・質問する。</p>						
成績評価の方法	筆記試験 60%			受講態度 20%			教科書 保育者になるための国語表現 田上貞一郎著 萌文書林
	作品(小論文・スピーチ原稿) 20%			参考資料 「言葉の知識百科」三省堂 「子どもの感性を育む」NHK			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	自然科学概論			担当教員	浅井智子	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	自然科学の視点を通して、身の回りの自然物から宇宙まで、世界にあふれる様々な事象に対して、興味関心を持つ豊かな感性と、探求心の伴った行動力を養う						
一般目標	・実践現場を想定した講義や実習を通して、「自然」と「子ども」の関係性について学び、身近な自然物への興味関心を自ら深め、幼児教育&保育現場で活かす方法を身に着ける						
到達目標	・自然とは何か、子どもとは何か、なぜ子どもに自然体験活動が必要かを学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる ・身近な自然物に触れる面白さを知り、なぜ？不思議？といった探求心を培う ・具体的な自然と子どもをつなげる技術、方法、知識を季節ごとに学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション ・シラバス、評定の仕方など説明	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	② 子どもになぜ「自然」が必要か ・脳科学からみた子どもの育ちの在り方・森のようちえんとは	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	③ 春の野草料理・リスクマネジメント	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	④ 春の草花での遊びいろいろ(草木染/布&羊毛)	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑤ 子どもの本物の生きる力を養う自然体験活動とは (Being と Doing の関係性)	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑥ 春の野外実習	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑦ 春の野外実習の振り返りとまとめ	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑧ 自然を活かした保育現場で 親と子どもの心の器を養うとは？	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑨ ミツロウキャンドル作り&火の扱い方 ・蜂の生態を知り、蜂から恵みを受け取る	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑩ 木と遊ぶ(ナイフワーク/リスクマネジメント)	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑪ 子どもの発達段階を知った保育とは？	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑫ にじみ絵&染め紙あそび ・色と光と色のまじりあうプロセスを感じる	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑬ 夏の野外実習	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
	⑭ 夏の野外実習の振り返りとまとめ	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価		
⑮ 試験・まとめ	事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える	事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価			
学習上の留意点	・季節によって旬の教材を取り入れていくので、講義や実習内容は臨機応変に変更。LINEグループなどで情報共有予定。 ・毎回、教科書や参考図書を読んだ質問タイムを設けるので、主体的に質問を用意ください ・第1回目に授業計画を聴いたのち、自身の到達目標を決めてもらいます。それに対してどこまで到達できたか毎回授業後に自ら評価し、最終日に総合的に評価してもらいます。						
成績評価の方法	定期試験 50% 平常点(受講態度・授業参加状況) 50%			教科書	■お母ちゃん革命 ■森のわらべ手仕事帖 ／出版・一般社団法人MORIWARA		
				参考資料	■北欧の森のようちえん 自然が子どもを育む ／出版・イザラ書房 ■センス・オブ・ワンダー ／出版・新潮社		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本国憲法			担当教員	松井 幸三郎		
全体目標	日本国憲法の成立過程を知ること。憲法の基本理念である、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を、実際の条文を参照して理解すること。						
一般目標	大日本帝国憲法を改正して成立した現行憲法が、前憲法とどのような違いを有しているのかを把握する。						
到達目標	特に9条、13条、14条、18条～29条を、その判例を通じて理解する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① ガイダンス、日本国憲法の誕生				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	② 日本国憲法の理念(国民主権、基本的人権の尊重、平和主義)。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	③ 公共の福祉について。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	④ 違憲立法審査権(意見法令審査権)について。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑤ 実際の判例に見る違憲審査。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑥ 日本の天皇制。現在の皇位継承の状況。安定的な皇位継承の有識者会議と懇談会。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑦ 9条。戦争の放棄。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑧ 自衛隊は9条違反か。政府の見解と判例。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
				事後学習	講義内容の復習。		
⑨ 個別的自衛権と集団的自衛権。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑩ 13条、14条。幸福追求権と法の下での平等。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑪ 宗教と憲法。20条、89条。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑫ 自由権について。18～23条。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑬ 両性の平等。14条、24条。女子再婚禁止期間規定など。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑭ 社会権について。25～29条。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑮ 試験。まとめ。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
学習上の留意点	たとえば、民法の「女子再婚禁止期間規定(772条)」の削除や「非嫡出子法定相続分規定(900条4号)」などについては、身近な例として判例を挙げるので、憲法がわれわれの生活にも関わっていることに留意したい。						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 50% 筆記試験 50%			教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」 (自由国民社) 神田 将著		
				参考資料	適宜プリントを配布する。		



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	情報機器演習			担当教員	宇佐見 海渡 安中 潤		
全体目標	情報技術 (ICT) を活用した保育を展開できる保育者となることを目標とする。						
一般目標	情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。 様々なアプリケーションへの理解を深める。						
到達目標	情報機器の基礎的な知識や操作方法、情報機器を用いて何ができるのかを学ぶ。 文章や図表の作成、表計算、プレゼンテーション資料の作成を習得する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 受講ガイダンス、情報機器の操作説明 Windowsの基本操作とフォルダ作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	② プレゼンテーション① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	③ プレゼンテーション② 素材の利用	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	④ プレゼンテーション③ メディアの利用とアニメーション効果	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑤ 文章作成④ グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑥ 文章作成② 書式設定	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑦ 文章作成③ 表の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑧ 文章作成④ グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑨ 表作成① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑩ 表作成② 表の作成と編集、数式と参照	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑪ 表作成③ グラフ機能と素材の挿入	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑫ 表作成④ 関数	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑬ 課題の説明と評価方法	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑭ Officeを利用した課題の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題			
学習上の留意点	課題提出があるため、欠席しないこと パソコンの操作に自信がない場合は、授業資料の予習を行うこと 不明な点は教員に積極的に質問すること						
成績評価の方法	授業毎の小テスト…30% 課題の提出…30% 最終試験…40%			教科書	「学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門」 技術評論社		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	一般英語			担当教員	米田 充		
全体目標	映画「ハリーポッター」を題材に、基本的な表現、イギリス英語とアメリカ英語の違いを知る。原書を読むための基本的な和訳法を身につける。						
一般目標	各セクションの重要表現を聞き取り、復唱、書き取りをすることで表現に慣れ親しむ。英文の構造を段階を追って学び、和訳法へ適用させる。						
到達目標	テキストのヒントを参考に、ピックアップされた表現を繰り返し聞いてなんとか真似をして復唱する。英文の構造を解析する練習を繰り返し、和訳の準備を整えてから、和訳を実践していく。原書を辞書を引きながら読み進められる自信をつける。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	① 併行する学習の方法と目標の説明。 Section1のリスニング hope/thinkの違いなど			事前学習	シラバスを読んでおく	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	②	② 動詞の発見とその周辺の語句			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	③	③ Section2のリスニング get up/wake upの違い、命令文、数の尋ね方など			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	④	④ 主語の発見、主語の前の余分な語句について			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑤	⑤ Section3のリスニング Why/Becauseの呼応, too/eitherの使い方			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑥	⑥ 語句のまとめ 修飾語＋名詞、前置詞＋名詞			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑦	⑦ Section4,5のリスニング Excuse me, but、疑問詞＋不定詞の用法			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑧	⑧ 和訳の順序 基礎和訳と調整和訳の仕方			事前学習	テキストの要点の先読み	
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑨	⑨ Section6,7のリスニング 大きな数字の読み方、What's ＋場所、Here we are			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑩	⑩ 2つ以上の文、つながりの理解 等位接続詞と従位接続詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑪	⑪ Section8,9のリスニング 発音練習、Can you/Could youの違いなど			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑫	⑫ つなぎの理解2 間接疑問文と関係代名詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑬	⑬ Section10のリスニング Do you mind..に対する答え方			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑭	⑭ 和訳の実践もしくは園での場面英会話 原書からの英文にもチャレンジ			事前学習	要点の復習		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑮	⑮ 試験、まとめ			事前学習	教材の見直し		
				事後学習	まとめの理解		
学習上の留意点	リスニングの授業は概ね英語で行いますが、細かなことにとらわれることなく、感覚で理解に努めるように。書き取りの際、スペルチェックできるように、辞書を用意しておくとういでしょう。和訳法の授業は日本語で行います。テキストへの書き込みは必ずしてください。その都度提出を求めます。						
成績評価の方法	平常授業での提出プリントの完成度 60% プリント提出できない場合は-5点 プリント書き込みが不十分な場合は-3点 期末定期試験 40% プリントと試験の合計点で最終評価する			教科書	オリジナル教材		
				参考資料			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として 実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	柔軟性を養うと共に、自らの体力の向上を図る。						
到達目標	正しいストレッチ体操を習得して、留意点に注意して行う。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)			事前学習 事後学習	シラバス下読み 授業内容の把握	
	②	バレーボール (オーバー・アンダーパス、ゲーム)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 オーバー・アンダーパス習得	
	③	バレーボール (サーブ、ゲーム)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 サーブの打ち方習得	
	④	ボール運動、縄運動 ★講義 (1～3歳までのボール運動、3歳からのボール運動)			事前学習 事後学習	ボールと縄の運動形態確認 ボールと縄の段階指導把握	
	⑤	マット運動 (開脚前転、後転)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 開脚前転、後転の習得	
	⑥	マット運動 (実技テスト)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 開脚前転、後転の習得	
	⑦	運動あそび ★講義 (運動あそびの種類)			事前学習 事後学習	運動あそびの種類確認 運動あそびの内容把握	
	⑧	ドッジボール (ノーマルドッジ、王様ドッジ)			事前学習 事後学習	ドッジボールのルール確認 ドッジボールの動き習得	
	⑨	ドッジビー (スローイング、ゲーム)			事前学習 事後学習	ドッジビーのルール確認 スローイングの習得	
	⑩	運動会種目 ★講義 (組体操、バルーンの種目)			事前学習 事後学習	運動会種目の確認 組体操、バルーンの動き把握	
	⑪	バルーン、運動あそび (じゃんけんゲーム)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 じゃんけんゲームの種類習得	
	⑫	ポートボール (ドリブル、ゲーム)			事前学習 事後学習	ポートボールのルール確認 ポートボールの動き習得	
	⑬	体力テスト (反復横跳び、立幅跳び)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操内容確認 各個人の体力年齢の把握	
	⑭	ストレッチ体操図解 ★講義 (各種目の留意点)			事前学習 事後学習	ストレッチ体操留意点の確認 ストレッチ体操種目習得	
⑮	定期試験まとめ			事前学習 事後学習	試験範囲の確認 評価内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の出来る服装で出席すること。</li> <li>・体育館シューズを用意すること。</li> <li>・装飾品は、はずして出席すること。</li> <li>・講義についてはプリント教材で行う。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技 (50点)</li> <li>・定期試験 (50点)</li> </ul> 平常点(授業態度、授業参加状況)も加味する			教科書	なし		
				参考資料	・幼児体育指導経験に基づく実技内容		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	実技		単位数	1単位
科目名	体育実技			担当教員	山内 隆治		幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。							
一般目標	柔軟性を養うと共に、自らの体力の向上を図る。							
到達目標	正しいストレッチ体操を習得して、留意点に注意して行う。							
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	①	バレーボール (オーバー・アンダーパス、ゲーム)			事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	オーバー・アンダーパス習得		
	②	バレーボール (サーブ、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認		
					事後学習	サーブの打ち方習得		
	③	バレーボール (サーブレシーブ、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認		
					事後学習	サーブレシーブ習得		
	④	器械体操補助法 ★講義 (マット、鉄棒)			事前学習	器械体操の補助法確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑤	器械体操補助法 (マット、鉄棒)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑥	器械体操補助法 (実技テスト)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
					事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
	⑦	運動発達、体力の分類、成就率 ★講義 (運動発達の段階と年齢区分)			事前学習	運動発達のしくみ確認		
					事後学習	体力の分類の構図を確認		
⑧	ドッジビー (スローイング・ゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認			
				事後学習	スローイングの習得			
⑨	ドッジビー (パスゲーム)			事前学習	スローイングの確認			
				事後学習	ゲームのルール確認			
⑩	幼児体育と学校体育カリキュラム ★講義 (幼児体育カリキュラム内容)			事前学習	幼児体育種目の確認			
				事後学習	カリキュラム内容の把握			
⑪	ポートボール (ドリブル、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認			
				事後学習	ゲーム内容の確認			
⑫	ポートボール (パス、ゲーム)			事前学習	ゲームのルール確認			
				事後学習	ゲーム内容の確認			
⑬	体力テスト (反復横跳び、立幅跳び)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	各個人の体力年齢の把握			
⑭	リーグ戦トーナメント戦の表作成、器械体操段階指導法 ★講義 (表の作成方法、マット・跳び箱・鉄棒の段階指導法)			事前学習	表の作成方法確認			
				事後学習	器械体操の段階指導法把握			
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認			
				事後学習	評価内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の出来る服装で出席すること。</li> <li>・体育館シューズを用意すること。</li> <li>・装飾品は、はずして出席すること。</li> <li>・講義についてはプリント教材で行う。</li> </ul>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技 (50点)</li> <li>・定期試験 (50点)</li> </ul> 平常点(授業態度、授業参加状況)も加味する			教科書	なし			
				参考資料	・幼児体育指導経験に基づく実技内容			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	野外活動			担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育教諭として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。</li> <li>・保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。</li> <li>・自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。</li> <li>・食事、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。</li> <li>・活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。</li> <li>・集団生活を通して協力して生活することの大切さを感じる。</li> <li>・幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	野外教育について【講義】 社会環境の変化、自然への理解について学習する			事前学習	シラバスの考察	
					事後学習	授業内容の理解	
	②	オリエンテーション【講義】 環境、意義、方法や服装などの準備物について			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	授業内容の理解	
	③	環境理解【演習】 *開校式 お泊まり保育の意義、環境の変化や注意事項について			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	④	自然探索【演習】 *ウォークラリー 山中を楽しく歩くことで達成感、協力、幼児指導法を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑤	自然と共生【演習】 *クラフト 工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑥	自然と食【演習】 *飯盒炊飯 協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑦	自然と明暗と暖かさ【演習】 *キャンプファイヤー 明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することを学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習	
					事後学習	実践内容の理解	
⑧	自然と衛生管理【演習】 *入浴 入浴を通して、衛生管理の配慮事項等について学習する			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑨	自然と健康管理【演習】 *就寝 自然の中で寝泊まりする自己の心の変化を知る			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑩	自然と目覚め【演習】 *朝の体操 爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑪	仲間と対話【演習】 *朝食 食事の時間の重要性を感じる			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑫	環境整備【演習】 *清掃 自然や環境、物を大事にする大切さを知る			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑬	自然を探る【演習】 *野外ゲーム 活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ			事前学習	しおり、プリント学習		
				事後学習	実践内容の理解		
⑭	振り返り① グループ・ディスカッション【講義】 感得したものや学習成果について話し合う			事前学習	実践の振り返り		
				事後学習	自己評価		
⑮	振り返り② レポート提出 自然への認識、理解の深まりについてなどレポート提出			事前学習	実践の振り返り		
				事後学習	自己評価		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に配布されたプリントやしおりを熟読しておく。</li> <li>・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。</li> <li>・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。</li> <li>・集団生活の規律を厳守する。</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加状況	60%	教科書	参考資料	「園外保育・山のくらし」 「配布プリント」 「しおり」		
	授業への取り組み姿勢	20%					
	事後レポート作成内容	20%					

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと健康			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。</li> <li>・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。</li> <li>・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる</li> <li>・乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。</li> </ul>						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 健康とは? (1)健康の定義 (2)健康の捉え方	事前学習 事後学習	教科書P1～8を熟読し、“健康”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	2. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは? (2)スキャモンの発育曲線 (3)生理的早産説	事前学習 事後学習	教科書P39～44を熟読し、「発育」「発達」とは何か考える 授業内容を振り返る			
	③	3. 乳幼児の身体計測及び発育状態 (1)身体計測 (2)乳幼児の発育栄養状態をみる方法	事前学習 事後学習	教科書P39～44を熟読し、身体計測の方法を調べる 授業内容を振り返る			
	④	4. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き (3)頭蓋、脊柱、歯、について	事前学習 事後学習	人間の骨格の種類について調べる 授業内容を振り返る			
	⑤	5. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類	事前学習 事後学習	虫歯のプロセスについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑥	(3)筋肉の働き (4)ミルクアクション作用	事前学習 事後学習	筋肉の働きについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑦	6. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム	事前学習 事後学習	教科書P45～51を熟読し、運動のメカニズムを調べる 授業内容を振り返る			
	⑧	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%</li> <li>・授業参加状況や受講態度 30%</li> </ul>			教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	こどもと健康			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。</li> <li>・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。</li> <li>・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる</li> <li>・乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。</li> </ul>						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 健康とは？ (1)健康の定義 (2)健康の捉え方	事前学習 事後学習	教科書P1～8を熟読し、“健康”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	1. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは？ (2)生理的早産説 (3)“子宮外胎児期”の意味	事前学習 事後学習	教科書P39～44を熟読し、「発育」「発達」とは何か考える 授業内容を振り返る			
	③	2. 乳幼児の身体計測及び発育状態 (1)身体計測 (2)乳幼児の発育栄養状態をみる方法	事前学習 事後学習	教科書P39～44を熟読し、身体計測の方法を調べる 授業内容を振り返る			
	④	3. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き (3)頭蓋、脊柱について	事前学習 事後学習	人間の骨格の種類について調べる 授業内容を振り返る			
	⑤	(4)歯について 4. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類	事前学習 事後学習	虫歯のプロセスについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑥	(3)筋肉の働き (4)ミルキングアクション作用	事前学習 事後学習	筋肉の働きについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑦	5. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム	事前学習 事後学習	運動のメカニズムについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑧	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 80%</li> <li>・授業参加状況 20%</li> </ul>			教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。						
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。</li> <li>子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション	子どもを取り巻く人間関係			事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	② 領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③ 乳児期の人間関係子どもの人間関係と社会・道徳性				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④ 1歳以上3歳未満児の人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑤ 3歳以上児の人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑥ 子どもの人間関係と社会・道徳性 家庭や地域との連携				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑦ 保育者が紡ぐ『人間関係』				事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑧ 試験及びまとめ				事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。		
				事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>わからないことはそのままにせず積極的に質問する。</li> <li>必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験 50%</li> <li>提出物、受講態度 50%</li> </ul>			教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」(株)みらい		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書</li> <li>必要に応じて適宜配布する。</li> </ul>		



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	後藤 加代子		保育士として 実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが「環境と関わる」ことの意味と意義について学ぶ</li> <li>「環境を通して行う教育」を保育の基本として、子どもの環境について考える</li> </ul>							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児を取り巻く環境と幼児の発達について理解する。</li> <li>乳幼児にとっての学びの素材としての「環境」の意義について理解する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児を取り巻く環境(物的環境・人的環境・社会的環境・自然環境等)について理解する</li> </ul>							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	① オリエンテーション 領域「環境」とは	事前学習	教科書P14～18、P24～29を読んでおく。			事後学習		
		事後学習	資料を読み復習する。					
	② 保育における環境について	事前学習	教科書P34～49を読んでおく。			事後学習		
		事後学習	授業後読み直し振り返る。					
	③ 領域の視点 (乳児保育における領域「環境」の展開)	事前学習	乳幼児期の基本的発達について調べる。			事後学習		
		事後学習	乳児保育の環境について復習する。					
	④ 領域の視点 (3歳以上児における領域「環境」の展開)	事前学習	乳幼児期の基本的発達について調べる。			事後学習		
		事後学習	幼児期の環境について調べる。					
⑤ ものとの関わり(保育の場にあるものとの関わり)	事前学習	保育の場にある物を探して書き出す。			事後学習			
	事後学習	資料を読み直して振り返る						
⑥ 子どもの認識・思考と保育の構想	事前学習	教科書P51～59を読む。			事後学習			
	事後学習	教科書を読み直して復習する。						
⑦ 人的環境としての友達・保育者との役割	事前学習	自分の子どもの頃の友達との関わりや大人との関わりを振り返る			事後学習			
	事後学習	資料を読み直して授業を振り返る。						
⑧ 試験・まとめ	事前学習	これまでの学びをまとめる。			事後学習			
	事後学習	保育における「環境」について復習する。						
学習上の留意点	<p>授業を欠席した場合には、配布した資料を取りに来るようにする。            授業内容のまとめを作成し、振り返りをするようにする。            日頃からこどもの姿を思い浮かべどのように環境に働きかけるかを考えていく。</p>							
成績評価の方法	試験 60% 授業態度(発表・受講姿勢) 20% 課題提出 20%			教科書	子どもの姿からはじまる 領域・環境 秋田喜代美・三宅茂夫 監修 東 義也 編 (株)みらい			
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府文部科学省・厚生労働省)			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する。</li> <li>・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境、自然環境等)と、幼児の発達におけるそれらの重要性について説明できる。</li> <li>・乳幼児の認知的発達の特徴と道筋を説明できる。</li> <li>・乳幼児の物理的、数量・図形との関わり的事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数 [ 授 業 内 容 ]				課外学習		
	① ○オリエンテーション 1. 領域「環境」とは	事前学習	教科書 P8～11を熟読し、「環境」について考える				
		事後学習	授業内容を振り返る				
	② 2. 領域「環境」のねらいと内容	事前学習	教科書 P12～23を熟読し、環境の「ねらいと内容」について考える				
		事後学習	授業内容を振り返る				
	③ 3. 子どもの育ちを支える人的環境 (1)乳児期 DVD赤ちゃんが笑わない	事前学習	乳児期の人との関わりについて考える				
		事後学習	授業内容を振り返る				
	④ (2)幼児期	事前学習	幼児期の人とのかかわりについて考える				
		事後学習	授業内容を振り返る				
⑤ 4. 子どもの認知発達 (1)感受性の発達	事前学習	感受性とは何か考える					
	事後学習	授業内容を振り返る					
⑥ (2)思考の発達 ①子どもの思考と行動 ②ひとり遊びの意味 ③言葉と思考の関係	事前学習	子どもの思考について考える					
	事後訪問	授業内容を振り返る					
⑦ (3)体験の重要性 ①言葉と体験 ②繰り返しの意味	事前学習	様々な環境に関わることの意味について考える					
	事後学習	授業内容を振り返る					
⑧ 試験、まとめ	事前学習	これまでの学びをまとめる					
	事後学習	学びの応用について考える					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 80%</li> <li>・授業参加状況 20%</li> </ul>			教科書	実践例から学びを深める 保育内容・環境 環境指導法 わかば社		
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	こどもと言葉			担当教員	大主 香		幼稚園教諭として 実務経験あり		
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。								
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。</li> <li>・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。</li> <li>・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。</li> </ul>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。</li> <li>・豊かな言葉を育む言葉遊び</li> <li>・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。</li> </ul>								
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習				
	① 言葉とは何か	事前学習	シラバスを読む。			事後学習			配付資料を読み返す。
		事後学習							配付資料を読み返す。
	② 「領域 言葉」のねらい及び内容	事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。			事後学習			配付資料を読み返す。
		事後学習							配付資料を読み返す。
	③ 言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで	事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。			事後学習			配付資料を読み返す。
		事後学習							配付資料を読み返す。
	④ 言葉の発達②3歳児後半から就学前まで	事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。			事後学習			配付資料を読み返す。
		事後学習							配付資料を読み返す。
⑤ 保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)	事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。			事後学習			配付資料を読み返す。	
	事後学習							配付資料を読み返す。	
⑥ 言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)	事前学習	言葉遊びを見付ける。			事後学習			配付資料を読み返す。	
	事後学習							配付資料を読み返す。	
⑦ 豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)	事前学習	絵本及び紙芝居を探す。			事後学習			授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。	
	事後学習							授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。	
⑧ まとめ、課題、試験	事前学習	総復習			事後学習			試験内容について振り返り	
	事後学習							試験内容について振り返り	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読む。</li> <li>・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。</li> <li>・ 積極的に授業に参加する。</li> </ul>								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%</li> <li>・課題等提出物 30%</li> </ul>			教科書	「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府)				
				参考資料	「幼稚園教育要領」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと言葉			担当教員	和田直子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。</li> <li>・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。</li> <li>・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。</li> <li>・豊かな言葉を育む言葉遊び</li> <li>・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。</li> </ul>						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	言葉とは何か			事前学習	シラバスを読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	②	「領域 言葉」のねらい及び内容			事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	③	言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで			事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	④	言葉の発達②3歳児後半から修学前まで			事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
⑤	保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)			事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)			事前学習	言葉遊びを見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)			事前学習	絵本及び紙芝居を探す。		
				事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。		
⑧	試験、まとめ			事前学習	総復習		
				事後学習	試験内容について振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読む。</li> <li>・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。</li> <li>・ 積極的に授業に参加する。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%</li> <li>・課題等提出物 30%</li> </ul>			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府)		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと表現			担当教員	堀田彩乃、 田島宗忠、浦田一		幼稚園教諭、保育士 として実務経験有	
全体目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。							
一般目標	幼児の表現の姿や、その発達を支援する。 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。							
到達目標	幼児の遊びや生活における領域「表現」について理解する。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにし、幼児の表現活動に活用する。							
授業 の な が れ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	①	幼児期の表現の特性やそれを受け止めることの重要性について (担当:堀田)			事前学習	シラバス確認、領域「表現」について要領を読む		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	②	遊びや生活の中の表現、手遊び(担当:堀田) ・他者や環境との関わりについて			事前学習	好きな手遊びができるように準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	③	遊びと創造性(担当:田島、浦田) ・遊びから生まれる表現とは			事前学習	幼児期に好んでいた「遊び」を整理する		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	④	ごっこ遊び、模倣遊び(担当:田島、浦田) ・遊びの理論と幼児の表現			事前学習	自分が経験したごっこ遊びについて整理する		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	表現「造形」における教材例 (担当:堀田) ・幼児の創造性と描画能力の発達について			事前学習	必要な道具を準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	表現遊び、模倣遊び、なりきりの表現(担当:堀田) ・イメージを表現したり演じたりして遊ぶ楽しさ			事前学習	イメージや感性を豊かにする		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	絵本と表現(担当:堀田) ・発達、経験に合った絵本、イメージの共有について			事前学習	好きな絵本を選び準備しておく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
⑧	お話ごっこの制作①(担当:堀田) ・内容、製作物、動きの表現について			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑨	お話ごっこの制作②(担当:堀田) ・動き、音、声色などを工夫し、演じたり表現したりする			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑩	お話ごっこの発表(担当:堀田)			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑪	歌唱表現(担当:堀田) ・季節、行事、生活、自然などと歌唱表現のつながりについて			事前学習	幼児と一緒に歌いたい歌を考えておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑫	生活の音探し・楽器と音の表現(担当:堀田) ・簡易的な楽器を使った身近な音の表現			事前学習	生活の中で聴こえる音を意識して聴いておく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑬	音楽遊び、廃材を使った簡易楽器作り(担当:堀田) ・廃材を使い楽器を製作し、音を自由に表現する			事前学習	必要な道具を準備しておく			
				事後学習	これまでの授業の内容をまとめる			
⑭	幼児の表現活動を考える(担当:堀田) ・主体的な表現を支える援助について、まとめ			事前学習	これまでの授業の内容をまとめる			
				事後学習	これまでに学んだことや課題を確認する			
⑮	試験、まとめ (担当:堀田)			事前学習	これまでに学んだことや課題をまとめる			
				事後学習	領域「表現」について理解し、幼児の表現活動に活用する			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具を準備して授業に臨むこと</li> <li>・授業内容に応じて事前に連絡する準備物を用意すること</li> <li>・課題や授業内では積極的に自分の意見を述べ、表現豊かに取り組むこと</li> <li>・領域「表現」について幼児との表現活動をイメージしながら参加すること</li> </ul>							
成績評価の方法	授業参加・課題取り組み	15%	教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)／保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)／幼児のうたとあそび(ふくろう出版)／『新しい保育講座⑩ 保育内容「表現」』小林紀子・砂上史子・刑部育子編著				
	グループ討議	15%		参考資料	幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 保育所保育指針解説			
	課題	20%						
	試験	50%						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育指導法総論			担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園教育及び保育所保育等は園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、乳幼児教育・保育の環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。特に、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているのかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児教育・保育の基本を踏まえた幼稚園・保育所・認定こども園における指導の考え方を理解する。</li> <li>・指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達過程を見通した指導計画を作成する。</li> <li>・乳幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の教育における見方・考え方や遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割を理解し説明できる。</li> <li>・具体的な乳幼児の姿を関連づけながら環境を構成し、実践するために必要な知識や技能を身につける。</li> <li>・模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力をつける。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション	「保育内容」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P9～13)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	② 社会の変化と「保育内容」の歴史の変遷	教育要領等における「保育内容」の考え方			事前学習	教科書を読んでおく(P19～23)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	③ 「領域」をどう捉えるか	保育における「ねらい」及び「内容」の考え方			事前学習	教科書を読んでおく(P14～18)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	④ 乳児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P24～28)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑤ 3歳未満児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P29～33)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑥ 3歳以上児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P34～38)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑦ 保育内容としての活動の捉え方 (子ども主体の活動の在り方)				事前学習	教科書を読んでおく(P54～61)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
⑧ 保育内容の計画と実践(指導計画の考え方)				事前学習	教科書を読んでおく(P86～101)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑨ ささまざまな配慮を必要とする子どもの保育				事前学習	教科書を読んでおく(P102～117)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑩ 小学校との接続・連携をふまえた保育				事前学習	教科書を読んでおく(P118～128)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑪ 社会状況の変化をふまえた保育のあり方と これからの保育に求められること				事前学習	教科書を読んでおく(P129～156)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑫ 模擬保育(保育内容の実践)①				事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑬ 模擬保育(保育内容の実践)②				事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑭ 幼児期の教育・保育の基本 (子どもにとっての保育者の役割)				事前学習	これまでの学びを整理しておく		
				事後学習	指導計画を立案する		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	学んだことを振り返る		
				事後学習	自分自身の課題を明確にする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指す者としての意識を持ち、意欲的・積極的に授業に臨む。</li> <li>・グループワークやグループ活動においては、活発に意見交換し、学び合いの精神を持って取り組む。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	新・保育内容総論 保育って、おもしろい (教育情報出版)			
	授業参加状況や受講態度	20%		参考資料	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		
	提出物(授業のプリント内容、課題等)	30%	その他適宜授業で紹介する				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	健康指導法			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として 実務経験有		
全体目標	領域「健康」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的に学び、実際の保育場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「健康」のねらい及び内容を理解する。</li> <li>・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。</li> </ul>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2. 領域「健康」に示されたねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> <li>3. 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育を改善する視点を身につけ、その向上に取り組めるようになる。</li> </ol>							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	オリエンテーション 1. 保育と領域「健康」 (1) 保育とは？ (2) 「幼稚園教育要領」及び「保育所保育指針」等における保育の目標			事前学習	教科書P6～12を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	②	(3) 幼児期の教育の特性 (4) 領域「健康」の「ねらい」と「内容」 (5) 領域「健康」と他領域との関係			事前学習	「幼稚園教育要領」「保育指針」を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	③	(6) 総合的な指導とは？ (7) 乳児保育と領域「健康」			事前学習	教科書P12～15を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	④	2. 健康に関わる現代の子どもの課題 (1) 我が国における夜更かしの子どもの実態			事前学習	教科書P16～27を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	(2) 我が国におけるこれまでの取り組み (3) 生活リズムの重要性と必要性			事前学習	教科書P25～27を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	(4) 生活リズムの確立のために (5) 生活リズムの乱れが幼い子どもに及ぼす影響とその対策			事前学習	教科書P28～38を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	3. 乳幼児の運動能力の発達と園生活 (1) 粗大運動の発達 ①這う ②歩く			事前学習	教科書P45～51を読んでおく		
					事後学習	授業内容を振り返る		
⑧	③走る ④跳ぶ ⑤投げる ⑥蹴る			事前学習	教科書P52～60を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑨	(2) 微細運動の発達 ①手の運動パターン ②手と腕の運動の発達			事前学習	教科書P52～60を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑩	4. 乳幼児の運動あそび (1) 乳幼児期の運動あそび ①子どもの遊びと発達 ②乳児の運動あそび			事前学習	教科書P82～95を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑪	③幼児の運動あそび (3) 運動あそびの効果 (4) 運動あそびの留意点			事前学習	教科書P82～95を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑫	5. 乳幼児の心の発達と園生活 (1) 心とは？ (2) 情緒の発達 (3) 社会性の発達			事前学習	教科書P61～81を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑬	(4) 知的能力の発達 (5) パーソナリティーの発達 (6) 心の発達と保育者の援助			事前学習	教科書P61～81を読んでおく			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑭	遊びをめぐる保育の現状 (保育者の役割)			事前学習	プリント学習			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑮	試験・まとめ			事前学習	学んだことを復習する			
				事後学習	授業内容を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は必ず筆記用具を準備して臨み、わからないことはそのままにせず積極的に質問する。</li> <li>・子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶ。</li> <li>・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見る習慣にする。</li> <li>・必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>							
成績評価の方法	定期試験	70%					教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)
	授業参加状況と受講態度	30%						
				参考資料	「幼稚園教育要領」 「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	健康指導法			担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育教諭 として実務経験有		
全体目標	領域「健康」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、発達に即して、主体的・対話的に学び、実際の保育場面を想定し、指導法を身につける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「健康」のねらい及び内容を理解する。</li> <li>・発達や学びを理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した指導法を身につける。</li> </ul>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2. 領域「健康」に示されたねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> <li>3. 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育を改善する視点を身につけ、その向上に取り組めるようになる。</li> </ol>							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	オリエンテーション 保育と領域「健康」 (保育とは? 保育の目標)			事前学習 事後学習	シラバスの考察 授業内容を振り返る		
	②	幼児期の教育の特性 領域「健康」の「ねらい」と「内容」 領域「健康」と他領域との関係			事前学習 事後学習	教科書P8～12を下読み 授業内容を振り返る		
	③	総合的な指導とは? (乳児保育と領域「健康」)			事前学習 事後学習	教科書P12～15を下読み 授業内容を振り返る		
	④	健康に関わる現代の子どもの生活実態 1, 遊び			事前学習 事後学習	教科書P16～19を下読み 授業内容を振り返る		
	⑤	健康に関わる現代の子どもの生活実態 2, 習い事 3, 食生活			事前学習 事後学習	教科書P20～24を下読み 授業内容を振り返る		
	⑥	健康に関わる現代の子どもの生活実態 4, 生活リズム(生活リズムの重要性と確立)			事前学習 事後学習	教科書P25～27を下読み 授業内容を振り返る		
	⑦	子どもの心身の健康 情緒の安定			事前学習 事後学習	教科書P28～38を下読み 授業内容を振り返る		
	⑧	粗大運動と発達の関係 1, 這う 2, 歩く			事前学習 事後学習	教科書P39～51を下読み 授業内容を振り返る		
	⑨	身体の発達と園生活の関係 3, 走る 4, 跳ぶ 5, 投げる 6, 蹴る			事前学習 事後学習	教科書P52～60を下読み 授業内容を振り返る		
	⑩	子どもの発達と健康との関係 (微細運動の発達) 1, 手の運動 2, 手と腕の運動			事前学習 事後学習	教科書P52～60を下読み 授業内容を振り返る		
	⑪	子どもの心と体の健康 1, 心とは? 2, 情緒の発達 3, 社会性の発達			事前学習 事後学習	教科書P61～81を下読み 授業内容を振り返る		
	⑫	子どもの遊びと健康 1, 日本における遊び 2, 遊びとは何か 3, 遊びと生活			事前学習 事後学習	プリント学習 授業内容を振り返る		
	⑬	集団ゲームと健康 1, 集団ゲームとは 2, 良い集団ゲーム			事前学習 事後学習	プリント学習 授業内容を振り返る		
	⑭	遊びをめぐる保育の現状 (保育者の役割)			事前学習 事後学習	プリント学習 授業内容を振り返る		
⑮	試験、まとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨んでください。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問してください。</li> <li>* 必要に応じて資料配布をします。当日欠席した者は必ず取りに来てください。</li> </ul>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 50%</li> <li>・授業態度 20%</li> <li>・授業参加状況 30%</li> </ul>			教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)			
				参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で乳幼児の発達にふさわしい保育を学び、具体的な実践の方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。</li> <li>・乳幼児の自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な指導上の留意点を理解している。</li> <li>・発達理解を深め、必要な援助と留意点を理解している。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「人間関係」を広い視野から学ぶことにより、現代課題や保育実践の動向を知り、保育の改善、内容の向上に取り込むことができる。</li> <li>・領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用できるようになる。</li> </ul>						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域「人間関係」が目指す子どもの育ち・保育者の視点			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	②	子どもの生活の中で育まれる人間関係 生活体験 生活環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	③	子どもの遊びの中で育まれる人間関係 遊び体験 遊び環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	④	保育の展開と指導計画			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑤	指導計画作成の留意点			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑥	指導計画作成の検討と実践 グループ編成			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑦	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク①幼稚園生活の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
⑧	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク②保育教材の準備と実際			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑨	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク③発達段階の理解			事前学習	個性的な子どもについて調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑩	幼児クラスでの保育の展開・体験 グループワーク④子どもと保育者の人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑪	保育体験の振り返りと共有			事前学習	自分の身近な保護者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑫	多様な配慮と保育構想			事前学習	自分の身近な保育者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑬	小学校生活への接続と地域の連携			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑭	保育者が紡ぐ人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく		
				事後学習	講評の内容を把握する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業や生活の中で、子どもの姿をイメージし、実際の場面で生かすことができるように取り組む。</li> <li>・授業には、意欲的に臨み、提出物は丁寧に記述し、期限を守る。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験 50%			教科書	・「ワークで学ぶ 保育内容 人間関係」(株)みらい		
	提出物や受講態度 50%				参考資料		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び各解説書</li> <li>・必要に応じて適宜配布する。</li> </ul>		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	後藤 加代子	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「環境」と「環境を通して行う教育」の関係について学び、自然を生かした保育や人的環境、物的環境などから保育を実践する方法を学ぶ。						
一般目標	子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力をどのように育てていくかを学ぶ。						
到達目標	領域「環境」に関する指導法を知る。 領域「環境」のねらい・内容を理解し、具体的な保育方法を考え、指導計画などの考え方を身につける。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 領域「環境」について(復習)	事前学習	教科書P95～P110を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	② 子ども取り巻く環境と課題	事前学習	教科書P61～72を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	③ 個々の発達・集団の発達と保育者の役割	事前学習	教科書P37～44を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	④ あそびを豊かにする室内環境	事前学習	教科書P112～117		事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑤ あそびを豊かにする園外環境	事前学習	教科書P117～121を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑥ 数量・図形とのかかわりと実践	事前学習	参考資料(指針・教育要領など)を読む		事後学習	配布資料を読み直す	
	⑦ 標識・文字とのかかわりと実践	事前学習	参考資料(指針・教育要領など)を読む		事後学習	配布資料を読み直す	
	⑧ 子どもの遊びと5領域	事前学習	参考資料(指針・教育要領など)を読む		事後学習	配布資料を読み直す	
	⑨ 子どもの安全環境(安全教育と災害への備え)	事前学習	参考資料(指針・教育要領など)を読む		事後学習	配布資料を読み直す	
	⑩ 幼保小の連携、接続について	事前学習	教科書P75～78・P145～155を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑪ 指導計画の作成と実践、保育の評価	事前学習	教科書P133～143を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑫ 行事との関わり・伝承あそび	事前学習	一年間の行事について考えておく		事後学習	配布資料を読み直す	
	⑬ 情報機器及び教材の活用、工夫と充実	事前学習	教科書P123～P131を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
	⑭ これからの保育内容「環境」にかかる課題	事前学習	教科書P82～89・P161～168を読む		事後学習	授業の内容を振り返る	
⑮ 試験・まとめ	事前学習	これまでの学びを振り返る		事後学習	子どもを取り巻く環境と課題について考える		
学習上の留意点	授業を欠席した場合には、配布した資料を取りに来るようにする。 授業内容のまとめを作成し、振り返りをするようにする。 日頃から、子どもの姿を思い浮かべどのように環境に働きかけるかを考えていく。						
成績評価の方法	試験 60%			教科書	子どもの姿からはじまる 領域・環境 秋田喜代美・三宅茂夫 監修 東 義也 編 (株)みらい		
	授業態度(発表・受講姿勢)20%				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府文部科学省・厚生労働省)	
課題提出 20%							

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「環境」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。</li> <li>・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。</li> </ul>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児期の教育の特性について説明することができる。</li> <li>2. 領域「環境」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</li> <li>3. 領域「環境」の視点から、現代社会における子どもの育ちに関する課題を説明することができる。</li> </ol>						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	1. 領域「環境」のねらいと内容【おさらい】	事前学習 事後学習	教科書P12～23を熟読し、環境の「ねらいと内容」について考える 授業内容を振り返る			
	②	2. 子どもの育ちに関わる現代の社会環境とその課題 (1) 少子化と早期教育への理解	事前学習 事後学習	少子化の現状を調べておく 授業内容を振り返る			
	③	(2) 少子化と早期教育への理解 (映像視聴・レポート)	事前学習 事後学習	早期教育とは何かを調べておく 授業内容を振り返る			
	④	3. 保育の展開と指導方法 (1) ものとかかわり	事前学習 事後学習	教科書P48～58を熟読し、「ものとかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑤	(2) 自然とかかわり	事前学習 事後学習	教科書P60～80を熟読し、「自然とかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑥	演習「自然物を利用した製作遊び」	事前学習 事後学習	教科書P60～80を熟読し、「自然とかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑦	(3) 数量・図形とかかわり (4) 標識・文字とかかわり	事前学習 事後学習	教科書P82～102を熟読し、「数量・図形とかかわり」「標識・文字とかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑧	(5) 伝統行事・季節の行事とかかわり ① 一年を通した行事の理解	事前学習 事後学習	教科書P122～132を熟読し、「行事とかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑨	② 行事レポート作成	事前学習 事後学習	教科書P122～132を熟読し、「行事とかかわり」について考える 授業内容を振り返る			
	⑩	4. 環境設定の体験	事前学習 事後学習	環境設定の大切さについて調べておく 授業内容を振り返る			
	⑪	5. 環境からの学ぶ子どもの姿(映像視聴・グループワーク) (1) 子どもの姿からの読み取り	事前学習 事後学習	子どもを知るための方法について考える 授業内容を振り返る			
	⑫	(2) 保育者の援助について (3) 繋がる保育をするために	事前学習 事後学習	保育者のすべき対応や次への展開について考える 授業内容を振り返る			
	⑬	6. 伝承遊びの体験(お正月あそび)	事前学習 事後学習	伝承遊びについて調べておく 授業内容を振り返る			
	⑭	7. 保育の過程	事前学習 事後学習	教科書P38～46を熟読し、「保育の過程」について考える 授業内容を振り返る			
⑮	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 60%</li> <li>・提出物 30%</li> <li>・授業参加状況 10%</li> </ul>			教科書	実践例から学びを深める 保育内容・環境 環境指導法 わかば社		
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	言葉指導法			担当教員	荒木 弘子			
全体目標	乳幼児の言葉の発達について理解できるようになる。また、領域「言葉」とその他の領域との関係を理解した上で、ケーススタディを通して指導方法を工夫できるようになる。さらに、乳幼児期に用いる児童文化財(絵本や紙芝居等)の意義について理解し、教材を保育の場で効果的に活用できるようになる。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の言葉の発達過程を理解し、領域「言葉」に関する指導についての基盤を養う。</li> <li>・言葉に対する総合的理解を深める。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関する領域「言葉」の意義・ねらい・内容を理解する。</li> <li>・乳幼児の生活を豊かにするための児童文化財の活用及び作成の技術を習得する。</li> <li>・乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</li> </ul>							
授 業 の な が れ	回数	[授業内容]	課外学習					
	①	オリエンテーション 領域の考え方と言葉の育ち	事前学習	シラバスの概要を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	②	領域「言葉」 領域「言葉」のねらいと内容	事前学習	教科書pp.152-157を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	③	子どもの発達と言葉 乳児の発達と言葉	事前学習	教科書pp.160-169を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	④	子どもの発達と言葉 幼児の発達と言葉	事前学習	教科書pp.169-179を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑤	前言語期のコミュニケーションと保育 言語獲得前のコミュニケーション	事前学習	教科書pp.182-191を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑥	前言語期のコミュニケーションと保育 コミュニケーションを育むための働きかけ	事前学習	教科書pp.191-199を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑦	話し言葉の機能と発達 「話す」ということ	事前学習	教科書pp.202-211を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑧	話し言葉の機能と発達 園生活で話す力を育てる	事前学習	教科書pp.211-216を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑨	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きと保育	事前学習	教科書pp.220-227を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑩	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きを支援する方法	事前学習	教科書pp.228-234を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑪	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 領域「言葉」の児童文化財の概要と意味	事前学習	教科書pp.238-246を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑫	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達	事前学習	教科書pp.246-253を読む。	事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑬	絵本の読み聞かせ 絵本の選定・指導案の作成・発表の練習	事前学習	グループで協力して読み聞かせで用いる絵本を選ぶ。	事後学習	グループで協力して指導案を完成させる。		
	⑭	絵本の読み聞かせ 発表・振り返り	事前学習	グループで協力して読み聞かせ発表の練習をする。	事後学習	発表の反省をおこない、改善点を把握する。		
⑮	試験・まとめ	事前学習	教科書および配布資料を見直す。	事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直しておく。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業の中で手遊びやわらべ歌の紹介、絵本の読み聞かせを行う。今後の保育や実習に生かせるよう、手遊びやわらべ歌は復習し、絵本も授業で紹介するブックリストを参考に積極的に読むこと。</li> <li>・グループでの話し合いには積極的に参加し他者の意見を参考に自分の保育の振り返りができるよう取り組むこと。</li> </ul>							
成績評価の方法	・授業参加状況や受講態度	20%	教科書	馬見塚昭久・小倉直子『保育学生のための「幼児と言葉」 「言葉指導法」』 ミネルヴァ書房 2022				
	・小テスト(全4回)	20%		参考資料	『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2019			
・提出物(絵本ノート)	10%	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 2019						
・発表(第14回授業)	10%	『保育内容・言葉』 太田光洋編 同文書院 2018						
・定期試験	40%	以上を総合的に評価する。						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(音楽)指導法			担当教員	藤田 桂子		
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容を、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。						
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。幼児の表現の芽生えを受け止めて、幼児が生活の中で幼児らしい様々な表現を楽しむことができるようになるための、伸びやかで創造的な音楽表現の援助をおこなうことができる。						
到達目標	自然の中でのさまざまな音や季節の移り変わりなどを感じ、表現活動につなげる。様々な音楽教育について知り、指導案を作成して模擬保育をおこなう。総合的な音楽表現活動の一例として「オペレッタ」の制作をおこなう。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容について乳幼児の育ちと関連付けて理解する。幼児音楽教育の歴史について学習する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	世界の様々な音楽教育について知り、知識を深め、自らの保育に応用するための具体的な方法について学習する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	③	様々な音楽教育の中からリズムを取りあげ、理論を理解したのち、実践する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	④	自然界の様々な音を情報機器を用いて録音したうえでオノマトペに変換し、創造的なリズム遊びを制作する。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑤	創作したリズム遊びをグループごとに発表する。相互評価をおこない、お互いに意見を言い合う。			事前学習 事後学習	発表準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑥	年間の指導案の枠組みを理解したうえで、細案(音楽)の作成方法を学習し、教材研究をおこなう。			事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑦	教材研究を生かし、音楽の細案を作成する。作成した指導案に基づきグループワークによる模擬保育をおこなう。			事前学習 事後学習	教材研究 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑧	総合的な音楽表現指導の一例として、「オペレッタ」を制作する。「オペレッタ」とは何かを学習し、単元のねらいを理解する。			事前学習 事後学習	発表準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑨	「オペレッタの制作2」グループワーク 台本を読み合わせし、キャストイング、製作の役割分担を行う。			事前学習 事後学習	資料準備 個人練習	
	⑩	「オペレッタの制作3」グループワーク 製作物について話し合い、材料準備について確認する。歌、セリフの練習をおこなう。			事前学習 事後学習	個人練習 個人練習	
	⑪	「オペレッタの制作4」グループワーク 引き続き練習と製作を行う。本番を見据えて、計画的に進める。			事前学習 事後学習	個人練習 個人練習	
	⑫	「オペレッタの制作5」グループワーク 暗譜し、演技を考える。意見交換をおこない、協働して進める。			事前学習 事後学習	個人練習 個人練習	
	⑬	「オペレッタの制作6」グループワーク 通し稽古、リハーサルをおこなう。道具を使用して通し、振り替えり、直しをする。			事前学習 事後学習	個人練習 個人練習	
	⑭	「オペレッタの制作7」発表。相互評価をおこない、制作の目的を捉えることができているかを振り返る。			事前学習 事後学習	発表準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
⑮	学びの総合的なまとめをおこない、自己評価により、幼児の表現活動の理解、適切な援助方法について学習できていたかを振り返る。			事前学習 事後学習	学習してきた単元についての確認 学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多くおこなうため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。授業に必要な楽譜等の資料準備等は、授業時間外でおこなうこと。						
成績評価の方法	受講態度30% グループワークにおける貢献度20% 提出物20% 発表30% 以上の総合評価とする			教科書	幼稚園教育要領(最新版)、保育所保育指針(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 一人一人を大切にユニバーサルデザインの音楽表現/萌文書林 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法			担当教員	永井 弘人	特別支援教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼児教育において育みたい資質や能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」の狙い及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程をふまえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現(造形)」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。						
到達目標	1) 幼児の発達の過程やそれに伴い成長していく絵や造形について理解している。 2) 領域「表現」の特性に応じて、様々な保育場面を想定した指導上の留意点を理解している。 3) 領域「表現」に関わる幼児が経験し身につけていく内容の関連性及び小学校の強化とのつながりを理解している。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション	材料や技法について			事前学習	シラバスの確認をしておく	
					事後学習	道具の用意	
	② 様々な描画技法の演習	モダンテクニック①(デカルコマニー マーブリング他)			事前学習	初回到説明した道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	③ 描画体験、絵の具指導法	モダンテクニック①(スパッタリング スtring他)			事前学習	水彩絵の具等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	④ 色づくり体験、絵の具指導法				事前学習	水彩絵の具等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	⑤ 紙を使った造形、見立て遊び指導法				事前学習	はさみ・のり等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	⑥ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(計画)				事前学習	事前に伝えた自分の担当について計画を立てる	
					事後学習	制作するための素材集め	
	⑦ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(制作)				事前学習	素材を持参	
					事後学習	制作するための素材集め	
⑧ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑨ おもちゃづくり、教材開発(計画)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑩ おもちゃづくり、教材開発(制作)				事前学習	素材を持参		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑪ おもちゃづくり、教材開発(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑫ 花飾りのある帽子づくり、立体造形指導法(構想)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑬ 花飾りのある帽子づくり、立体造形指導法(制作)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑭ なりきり帽子づくり、立体造形指導法(制作・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの内容の復習		
				事後学習	講評のフィードバック		
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 グループ制作や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。 日常から、造形あそびや制作のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけると良い。						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	15%	教科書	無し(必要に応じて資料を配布します。)			
	作品、提出物	40%					
	試験	45%	参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
	2回以上の欠席や、準備物の忘れ、課題未提出がある場合は厳しい評価となります。						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育原理 (教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を含む)			担当教員	菊地原 守		
全体目標	(1)教育の基本的概念や理念について、教育(学校)の歴史や思想を学ぶことで理解する。 (2)現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と家庭・地域との連携や学校安全への対応といった現代的課題に関する基礎的な知識も身に付ける。						
一般目標	(1)教育の本質及び目標と、教育を成り立たせる諸要因とそれらの相互関係を理解する。 (2)教育や学校の変遷、その背後にある教育に関する様々な思想について理解する。 (3)社会の状況変化による学校教育への影響並びにそれに対応するための教育政策の動向や、学校における具体的な取り組みを学ぶ。						
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や、子ども・教師・家庭・学校といった諸要因について学習する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育・学校の変遷と、代表的な教育家の思想について学習する。 (3)学校や子どもをめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する日本や海外の教育政策の動向を学習する。とりわけ、学校と家庭・地域との連携や学校安全への対応に関しては、学校における具体的事例をもとに実践的に学ぶ。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	学校体験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育・保育のしくみ(1)目的・意義から考える				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	③ 教育・保育のしくみ(2)政策・制度から考える				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	④ 子ども観と教育思想(1)子どもとはどのような存在か				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤ 子ども観と教育思想(2)教育はどう考えられてきたか				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 幼児教育と学校教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑦ 中間テスト				事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	解答内容の振り返り	
⑧ 教育と学校の歴史(1)近代教育制度の成立				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑨ 教育と学校の歴史(2)戦後日本の学校教育				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育と学校の歴史(3)学校・家族・社会の役割				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑪ 教育・保育の課題(1)現代の課題を発見する				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑫ 教育・保育の課題(2)現代の課題を分析する				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑬ 教育・保育の課題(3)現代の課題をまとめ、表現する				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑭ 教育・保育の課題(4)これからの教育・保育を考える				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	回答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義の内容の理解のみに留まらず、それに対する積極的批判をもとに受講者各自が自身の教育・保育に対する見方を養うことを心がけること。</li> <li>グループディスカッションなど発言を求める際には、受講者の主体的な参加を求める。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験 50%</li> <li>中間テスト 30%</li> <li>提出物・受講態度 20%</li> </ul>			教科書	なし		
				参考資料	汐見稔幸・伊藤隆・高田文子・東宏行・増田修治(編)『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 木村元・汐見稔幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年 木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ【改訂版】』有斐閣、2019年 戸江茂博(編)『保育原理』ミネルヴァ書房、2019年 汐見稔幸・武藤隆・大豆生田啓友(編)『アクティベート保育学① 保育原理』ミネルヴァ書房、2019年		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	藤川 寛之		
全体目標	教育や保育のニーズが複雑化している現代社会とのかかわりを意識しながら、教職(保育職)が有する役割・資質能力・職務内容について理解を深める。						
一般目標	(1) 日本における教職(保育職)の社会的意義や、求められる役割・資質能力について理解する。 (2) 教育や保育のニーズが複雑化するなかで学校・園内外の専門家等が連携・協力する必要性を理解する。						
到達目標	(1) 教職の意義や職業的特徴、教職に対する社会のまなざしの歴史の変遷について理解する。 (2) 教職が担う職務内容に加え、学校・園の運営に関する基本的な事項について理解する。 (3) 社会との関わりのなかで保育者の担うべき仕事について理解する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	ガイダンス			事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	②	教職の社会的意義と特徴			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	③	保育者が担う仕事とその一日			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	④	保育者が置かれた環境と実態			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑤	保育者の特徴(1) 保育者に求められる専門性			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑥	保育者の特徴(2) 保育者に与えられたサービスと権利			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑦	中間テスト			事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑧	現代社会における保育者(1) 教職に対する社会のニーズを探る			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
				事後学習	講義内容の復習		
⑨	現代社会における保育者(2) 教育課題と保育者			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑩	現代社会における保育者(3) 保護者と保育者			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑪	現代社会における保育者(4) デジタル化する学校・園運営の現状			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑫	チームでの連携(1) 同僚・他職種との連携を考える			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑬	チームでの連携(2) ジグソー学習の準備			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
⑭	チームでの連携(3) ジグソー学習によるチーム実践			事前学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
				事後学習	リフレクションシートを書いてくる		
⑮	試験・まとめ			事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。</li> <li>・この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。</li> <li>・「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。</li> </ul>						
成績評価の方法	・定期試験			50%	教科書	なし	
	・中間テスト			30%		参考資料	油布佐和子『現代日本の教師—仕事と役割—』NHK出版、2015年 佐久間亜紀・佐伯幹(編)『アクティベート教育学② 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年 大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸(編)『アクティベート保育学② 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年
・提出物/受講態度			20%				



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	教職(教師)という仕事、保育者という仕事を多角的に理解する。						
一般目標	教師・保育者の意義と役割、仕事内容と専門性を理解するとともに、現代の教育状況についても理解する。						
到達目標	1. 教師・保育者の意義と役割を理解する。 2. 教師・保育者としての仕事内容を理解し、求められる専門性(資質・能力)を理解する。 3. 現代の教育状況を理解し、必要な態度を身につける。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	②	教師・保育者の意義と役割			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	③	教師・保育者の仕事内容			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	④	教師・保育者の専門性(1) 求められる資質と能力			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤	教師・保育者の専門性(2) 資格との関係から			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥	教師・保育者の専門性(3) シラバスづくり			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦	教師・保育者の専門性(4) 教育技術と反省的実践家・チーム学校			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
⑧	教師・保育者の現状(1) 教師・保育者の現状と課題			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	教師・保育者の現状(2) 待機児童・賃金動向			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑩	教育の現状(1) 教育とカリキュラム			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑪	教育の現状(2) 教育と評価			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑫	教育の現状(3) 教育とアクティブラーニング			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑬	課題の発表			事前学習	発表の準備をしてくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑭	教職概論のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる		
				事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業のながれ」の順番は変更することがある。</li> <li>本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験 50%</li> <li>授業参加状況 50%</li> </ul>			教科書			
				参考資料	前田康裕『まんがで知る教師の学び—これからの学校教育を担うために』さくら社、2016年 高橋貴志『これからの保育者論—日々の実践に宿る専門性』明文書林、2017年 『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示 文部科学省)『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』(平成29年3月告示 厚生労働省)『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	真鍋 一生		
全体目標	子どもの発達及び学習についての基本的な知識を習得し、多様な視点から保育(教育)実践を行う上で必要となる考え方を習得することを目的とする。						
一般目標	1. 子どもの発達の過程及び特徴を理解し、基礎的知識を身につける。 2. 子どもたちの発達及び学習を支える指導や環境について理解する。						
到達目標	1. 発達に関する代表的な理論を踏まえ、発達の概念や幼児期の発達の過程と特徴を理解している。 2. 学習や動機づけの理論を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授業の なが れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション:保育と教育心理学	事前学習	シラバスを確認する		事後学習	授業内容を振り返る	
	② 発達と教育(1)遺伝と環境	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 発達と教育(2)思考やことばの発達	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 学習のしくみ(1)様々な学習	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤ 学習のしくみ(2)記憶のメカニズム	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥ やる気を育てる(1)「やる気」とは	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦ やる気を育てる(2)内からのやる気を育てる	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧ 個人差・知能・性格の理解	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑨ 人間関係と社会化(1)子どもの人間関係	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑩ 愛着形成と基本的信頼感	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑪ 人間関係と社会化(2)道徳性と向社会的行動	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑫ 特別な支援を要する子どもたち(1)障害の理解と受容	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑬ 特別な支援を要する子どもたち(2)こころの問題	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑭ 親の理解と子育て支援	事前学習	教科書の該当箇所を予習する		事後学習	授業内容を振り返る	
	⑮ まとめと試験	事前学習	これまでの学びを確認する		事後学習	試験及び授業全体を振り返る	
学習上の留意点	・わからないことがあれば、そのままにせず積極的に質問すること						
成績評価の方法	定期試験	70%	教科書 参考資料	「教育心理学－保育者を目指す人へ－」 石井 正子・松尾直博(編) 樹村房			
	平常点(受講態度・授業参加状況)	30%		適宜、資料を配布する			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	子どもの心身の発達と学習についての基礎的な知識と、子どもたちの発達の特徴を踏まえた上での保育実践を行う基礎となる考え方を習得する。						
一般目標	1. 子どもの心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2. 子どもの学習に関する基礎的知識を身につけ、発達を踏まえた学びを支える関わりや環境づくりの重要性を理解する。						
到達目標	1. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもの心身の発達の過程および特徴を理解している。 2. 子どもの心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション:保育と心理学			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	子どもの発達理解(1)子どもの発達と環境			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	子どもの発達理解(2)身体的機能と運動機能の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	子どもの発達理解(3)知覚と認知の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	子どもの発達理解(4)言葉の発達と社会性			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	子どもの発達理解(5)感情の発達と自我の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	人との相互的かかわりと子どもの発達(1) 母子関係とアタッチメント、基本的信頼感の獲得			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	人との相互的かかわりと子どもの発達(2) 社会的相互作用:遊びと仲間関係の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	人との相互的かかわりと子どもの発達(3) 動機づけと学習のメカニズム			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(1) 生涯発達と発達援助、心理社会的発達理論			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(2) 胎児期、新生児期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(3) 乳幼児期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(4) 児童期、青年期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	生涯発達のプロセスと初期経験の重要性(5) 成人期、老年期の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)			事前学習	これまでの学びを確認する		
				事後学習	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書	『保育の心理学 第3版』ナカニシヤ出版		
				参考資料	毎回資料を配布または提示する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	幼児の特別支援教育			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	<p>特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。                      実習で出会った子どもたちについて検討し考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。                      他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。</p>						
一般目標	<p>特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。                      教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。                      障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。</p>						
到達目標	<p>インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。                      教育課程の枠組みを踏まえ、個別の支援計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。                      特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。</p>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	特別支援教育に関する理念や制度 インクルーシブ教育			事前学習	支援を必要とする子のエピソードをまとめる。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	②	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害等(知的障害のない発達障害…ADHD等)			事前学習	実習で出会った子のエピソード等を準備する。	
					事後学習	発達障害のある子どもについて理解を深める。	
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 知的障害及び知的障害を伴う発達障害			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	知的障害の有る子どもについて理解を深める。	
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害及び盲聾重複障害			事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 肢体不自由・病弱・重度・重複障害等を含む様々な障害			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(母国語や貧困等)			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(発達障害といじめ)			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
⑧	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑦ 発達障害・愛着障害・知的障害			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。		
				事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
⑨	支援計画の意義と方法① 個別指導計画の理解 事例をもとに個別支援計画の検討			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
⑩	支援計画の意義と方法② 事例をもとに個別の支援方法の検討・作成 グループ発表			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑪	支援計画の意義と方法③ 障害を有する幼児の保育計画について			事前学習	事前配布資料の事例説明について理解する。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑫	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理			事前学習	事前配布資料の障害受容について理解する。		
				事後学習	実習で経験したり学んだことを整理する。		
⑬	支援体制の連携② 幼稚園・専門関係機関・家庭との連携と支援体制			事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
				事後学習	連携する上での課題や必要性について理解する。		
⑭	支援体制の連携③ 幼稚園と小学校・特別支援学校(小学部)との連携 就学に向けて			事前学習	就学に向けた支援方法についてまとめる。		
				事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
⑮	試験・講評 幼児の特別支援教育に関する知識の整理			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
				事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。</li> <li>・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。</li> <li>・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加状況・課題取り組み	30%			教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)	
	グループ討議	10%				参考資料	障害のある子どもへのサポートナビ 松浦俊弥 角田哲哉 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 保育者のための障害児保育―理解と実践― 尾野明美 はじめての特別支援教育[改訂版] 柘植雅義他
	試験	60%					

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育課程総論			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼児教育の変遷を理解する 幼児教育の制度や内容など「幼児教育のあり方」を学ぶ						
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の「指導計画」を作成・実践して、自己課題を見つける 幼児教育施設に求められることについて学ぶ						
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を理解する 保育現場で必要とされる計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解してそれを基に計画が作成できるようにする						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	教育課程・全体的な計画とは 幼稚園教育課程・保育所保育課程の変遷			事前学習	要領、指針、教育保育要領を読んでおく	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	②	計画の理論 教育・保育に大切なこと 保育のしくみ			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	③	よりよいカリキュラムを構想するために カリキュラムの構造と保育改善 環境構成			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	④	保育所保育指針などをもとに考える 乳幼児の理解や子どもの育ちをとらえる			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑤	教育課程・全体的な計画・編成 子どもの育ちに即した指導計画の作成			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑥	子どもの姿から「指導計画」を作成する 保育者の意図「心情・意欲・態度」			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑦	指導計画(長期・短期的)の作成 指導計画の必要性			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
⑧	計画の実際(1) 幼児の遊び・子ども理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑨	計画の実際(2) 幼児期にふさわしい生活の展開			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑩	計画の実際(3) 認定こども園の特徴			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑪	計画の実際(4) 乳児の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑫	計画の実際(5) 個別の計画			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑬	計画の実際(6) 異年齢保育の意義			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑭	カリキュラムマネジメント 幼稚園教育要領等 育みたい資質能力「三つの柱」・小学校との接続			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく		
				事後学習	講評の内容を把握する		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 授業参加状況50% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等) 以上を総合的に評価する			教科書	「教育・保育カリキュラム論」田中亨胤・三宅茂夫著 (株)みらい 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「保育実技」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」		
				資料考	「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「保育所保育指針解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 午後コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	藤川 寛之		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育・保育の方法と技術を理解する。それとともに、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。						
一般目標	(1) 子どもたちを教育するために必要とされる教育・保育に関する原理と指導技術を理解する。 (2) 教育・保育の目的に適した情報機器及び教材の活用を理解する。						
到達目標	(1) 優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 (2) 保育現場で用いられる様々な教育・保育の方法の概要を理解する。 (3) 情報機器及び教材の活用について実践的に理解する。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育・保育の原理(1)教育方法学と教育行為				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	③ 教育・保育の原理(2)教育・保育がもつ機能				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	④ 教育・保育の原理(3)教育・保育の歴史				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤ 教育・保育の方法論(1)計画と評価				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 教育・保育の方法論(2)学習の諸理論と環境				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑦ 中間テスト				事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	解答内容の振り返り	
⑧ 教育・保育の技術(1)個に応じた指導				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑨ 教育・保育の技術(2)遊び・生活の指導				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育・保育の技術(3)情報機器及び教材の活用				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑪ 実践を通して教育・保育を考える(1) 絵本、紙芝居				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑫ 実践を通して教育・保育を考える(2) お話、手遊び				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑬ 実践を通して教育・保育を考える(3) 折り紙、ゲーム				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑭ 実践を通して教育・保育を考える(4) ペープサート、パネルシアター				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。</li> <li>・この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。</li> <li>・「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 50%</li> <li>・中間テスト 30%</li> <li>・提出物/受講態度 20%</li> </ul>			教科書	なし		
				参考資料	長谷川榮『教育方法学』協同出版、2008年 久富陽子(編)『実習に行くまえに知っておきたい保育実技—児童文化財の魅力とその活用—展開—』萌文書林、2005年 神長美津子・津金美智子・五十嵐市郎(編)『乳幼児教育 保育シリーズ 保育方法論』光生館、2018年 垂見直樹・池田竜介(編)『幼児教育・保育のための教育方法論』ミネルヴァ書房、2021年		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部 夜間コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。						
一般目標	子どもたちを教育するために必要な教育の方法、教育の目的に適した指導技術、情報機器の活用を理解する。						
到達目標	理論編では、優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 実践編では、保育現場で用いられるさまざまな教育方法の概要を理解する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	②	理論編(1) 教育・保育の基礎知識①:学校について			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	③	理論編(2) 教育・保育の基礎知識②:幼稚園について(DVDを含む)			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	④	理論編(3) これからの時代の教師像・保育者像としての「反省的実践家」			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤	理論編(4) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」①: DVD			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥	理論編(5) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」②: 解説			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦	理論編(6) 「形式陶冶と実質陶冶」、「ヒドゥンカリキュラム」			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
⑧	実践編(1) 絵本、紙芝居、手遊び、ペープサート			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	実践編(2) エプロンシアター、ゲーム、折り紙、手作りおもちゃ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑩	実践編(3) お話			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑪	実践編(4) パネルシアター①: 構想			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑫	実践編(5) パネルシアター②: 作成			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑬	実践編(6) 行事と保育			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑭	教育方法論のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる		
				事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業のながれ」の順番は変更することがある。</li> <li>・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験 50%</li> <li>・授業参加状況 50%</li> </ul>			教科書	『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教育相談			担当教員	片岡 新之助		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達や生活の状況に即して、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉える。</li> <li>子どもの発達や学び、その過程で生じるつまづきを支援するために必要な基礎的知識を身につける。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育・教育相談の意義と理論を理解する。</li> <li>保育・教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解する。</li> <li>保育・教育相談の進め方や組織的な取り組み、連携の必要性を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育・教育相談に関する心理学の基礎的な理論や概念を理解する。</li> <li>保育・教育相談に求められる態度や姿勢、スキルを理解する。</li> <li>保育・教育相談において他の専門家と連携する意義や必要性を理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド			事前学習 事後学習	シラバスを確認する 授業内容を振り返る	
	②	子どもの発達理解と相談・支援			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	③	保護者への対応ー子育て支援の視点から			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	④	発達障害や気になる子どもとは			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑤	発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑥	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑦	保育場面でのカウンセリング技法の活用			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑧	園・地域における専門家との連携による相談・支援 1 保育におけるコンサルテーションと事例			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑨	園・地域における専門家との連携による相談・支援 2 園・地域における専門家と連携			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑩	保育者の専門性と相談活動			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑪	基礎的対人関係のトレーニング			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑫	事例 1 虐待が疑われる子ども			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑬	事例 2 障害のある子ども			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑭	事例 3 保護者からの相談			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑮	定期試験・まとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びを確認する 試験及び授業全体を振り返る	
学習上の留意	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッションを通じてお互いの理解を相互的に深めること。</li> <li>ロールプレイングを行い、実際の場面を想定した取り組みを行うこと。</li> <li>積極的に発言や質問を行い、主体的な学びに務めること。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験(70%) 平常点(提出物、受講態度等)(30%)			教科書	『子どもの理解と保育・教育相談 第2版』		
				参考資料	毎回の授業で資料を配布する		



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	教育実習 I			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識的に学び子ども理解を深める。</li> <li>・幼稚園の役割や保育者の職務を知る。</li> <li>・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の行事を知り、「ねらい」をしっかりと理解した上で、準備・行事での保育の補助・片付けを体験する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習での自分の反省点や課題を見つけて今後の保育につながるようにする。</li> <li>・PDCAサイクルに当てはめて、実習内容や記録をしっかりと振り返る。</li> </ul>						
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 後期11月の末から2週間実施。</li> <li>・実習の内容 観察実習・参加実習を中心に行う。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏等については積極的に随時行う。 状況に応じて指導(部分)実習行うこともある。</li> <li>・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。</li> </ul>						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・実習園と学校に必要な応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> <li>・教材研究・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。</li> <li>・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。</li> </ul> <p>注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等のより事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</p>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する</li> <li>・実習園の評価を基にオリエンテーション、事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する</li> <li>・最終的には教育実習 I・II および教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する</li> </ul>	教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育保育要領』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林				
		参考資料	実習関係書類 「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育保育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導 I			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園・幼保連携型認定こども園について理解する 実習に必要な基礎的事項を具体的に理解する 情報機器や教材を活用して実践力を身につけられるようにする						
一般目標	教育実習の意義、目的、方法を理解する 実習を行う上での必要な知識や技術を学ぶ 実習で実践に繋がるような事前準備や練習を行い実践力を高める						
到達目標	子ども理解、保育方法、内容等と実習での実践的な経験が結びつき理解を深める 保育者として必要な専門知識を身につける 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)について理解して、次へつなげる						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション(教育実習とは) 実習生に求められる姿勢や態度			事前学習	テキスト「第1章」「第2章」を読んでおく	
					事後学習	「幼稚園教育要領」の総則を読んで理解する	
	②	実習方法について(見学・参加・観察)実習の内容を知る DVD「幼稚園の一日」			事前学習	テキスト「第3章」を読んでおく	
					事後学習	教育実習の流れを理解する	
	③	実習に向けて(1) 目標を立てる 自分の実習目標の明確化「私の心構え」の作成			事前学習	どのような保育者になりたいのかまとめておく	
					事後学習	実習で学びたいことを明確にしておく	
	④	実習に向けて(2) 教育実習の流れ、実習記録について 環境構成、子どもの姿、保育者の意図			事前学習	実習記録の内容を把握する	
					事後学習	実習記録の書き方を理解するを作成する	
	⑤	実習に向けて(3) 実習記録について 手遊び・絵本準備 朝の会、昼食、帰りの会			事前学習	実習記録の内容を把握する	
					事後学習	実習記録の書き方を理解するを作成する	
	⑥	事前訪問について(1) 記録の作成(個人票・誓約書 等) 事前訪問の意義・電話のかけ方・持ち物			事前学習	個人票、誓約書の下書き	
					事後学習	事前訪問について確認する	
	⑦	事前訪問について(2) 実習書類の準備と確認 指導(部分)計画「手遊び・絵本」			事前学習	事前訪問時の質問内容等について考えておく	
					事後学習	「指導計画」を立てる	
⑧	実習に向けて(4) 主活動「製作・集団遊び」 活動の「ねらい」を考える			事前学習	主活動について理解する		
				事後学習	実習で実施できる製作・集団遊びを考える		
⑨	実習に向けて(5) エピソード記録 DVD「遊びこそ豊かな学び」子どもの姿を観察する			事前学習	記入方法でわからないことを明確にしておく		
				事後学習	「園児観察記録」の書き方を理解する		
⑩	実習直前指導(1) 実習最終確認・注意事項 週指導案 実習予定表 など			事前学習	実習中から実習後の流れを理解する		
				事後学習	実習中、実習後の準備を進める		
⑪	実習直前指導(2) 実習最終確認・注意事項 記録・準備・お礼状・事後訪問 など			事前学習	実習中から実習後の流れを理解する		
				事後学習	事後訪問・お礼状の内容を把握する		
⑫	事後指導(1) 振り返り用紙の記入			事前学習	提出すべき書類を整えて見直す		
				事後学習	「保育者として必要なことはなにか」まとめる		
⑬	事後指導(2) 経験交流、自己評価			事前学習	自分の学んだことや課題を明確にしておく		
				事後学習	経験交流することで学びを深める		
⑭	授業内容の振り返り 実習課題の明確化 DVD「主体的な遊びで育つ子ども」			事前学習	これまでの学習の振り返り		
				事後学習	実際の場面と結びつけて考えられるようにする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	教育実習や習ってきたことの理解を深める		
				事後学習	今後の実習への課題を見つけて振りかえる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見ること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度)50% 以上を総合的に評価する			教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林		
				参考資料	『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位		
科目名	教育実習Ⅱ			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有			
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連づけて知識・技術を深める。</li> <li>・指導案作成・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気づき、積極的に実践する。</li> </ul>								
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。</li> <li>・子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。</li> </ul>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。</li> <li>・PDCAサイクルに当てはめて、毎日の実習記録や指導計画をしっかりと振り返る。</li> </ul>								
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 前期9月末から2週間実施。</li> <li>・実習の内容 実習園の指示に従い、指導計画を作成しない指導(部分)実習に加え、指導実習(一日・半日・部分)を行う。 状況に応じて指導実習は、半日・部分を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏については積極的に随時行う。</li> <li>・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参するが、諸事情で困難な場合は、郵送などの手段を用いる。</li> </ul>								
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。</li> <li>・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。</li> <li>・指導案作成・教材研究・保育方法・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。</li> <li>・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。</li> </ul> <p>注: 本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等の事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</p>								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する</li> <li>・実習園の評価を基にオリエンテーションや事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する</li> <li>・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する</li> </ul>	教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林 『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林					参考資料	『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林 実習関係書類 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	瀬木 ゆかり	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする 実習の計画、観察、記録の内容や方法について具体的に理解して実践する。						
一般目標	保育者に求められる資質や専門性について学ぶ 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)の流れで進めて次につなげていく 指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動に対しての実践力を身につける						
到達目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 子どもの見方やかかわり方など、様々な角度から考えられるようになる 保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	教育実習Ⅱに向けての心構えと事前準備 実習記録用紙の書き方・データ化について			事前学習	教育実習を終えてを見直し課題を明確にする	
					事後学習	教育実習Ⅰの記録や書類を見直す。	
	②	事前訪問について 実習書類の準備 心構え(実習目標・実習課題)・誓約書・個人票			事前学習	実習生個人票の下書きをする	
					事後学習	実習で学びたいことを明確にし心構え作成。	
	③	事前訪問について 書類・事前訪問内容の確認			事前学習	事前訪問で行うことを明確にしておく	
					事後学習	書類を整え、気持ちを整える	
	④	記録の記入(1)実習記録 教育実習1を踏まえ、実習記録の確認・課題			事前学習	教育実習1実習記録を見直す	
					事後学習	主体的な遊びについて理解を深める	
	⑤	記録の記入(2)実習記録 保育者の意図を読みとる			事前学習	子どもの主体性について考える	
					事後学習	指導実習について理解を深める	
	⑥	記録の記入(3)指導計画 DVD「続保育者をめざすあなたへ第2巻」			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく	
					事後学習	様々な「製作」について保育雑誌から調べる	
	⑦	記録の記入(4)指導計画 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく	
					事後学習	様々な「遊び」について調べる	
	⑧	記録の記入(5)子ども理解 記録から子どもの育ちや思いを読みとる			事前学習	「指導計画」をある程度仕上げる	
				事後学習	作成した「指導計画」の内容を省察する		
⑨	記録の記入(4)園児エピソード記録の書き方の復習 子どもの活動(姿)から「園児エピソード記録」を作成する			事前学習	子ども理解の視点を確認する		
				事後学習	子どもたちに読みたい絵本や手遊びの練習		
⑩	実習直前指導 最終確認 実習記録・準備・お礼状・事後訪問 事後訪問への臨み方 手遊びの発表			事前学習	実習に臨む心構えを再確認しておく		
				事後学習	実習で子どもたちの前で披露できるものを準備		
⑪	事後指導(1)事後訪問・お礼状・実習を終えて 事後訪問・実習を振り返る・印象に残ったエピソードを記入			事前学習	事後訪問に抜けて「実習記録」を整える		
				事後学習	実習を終えてを記入する		
⑫	事後指導(2)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流 課題を明確にしておく			事前学習	経験交流ができるように意見をまとめておく		
				事後学習	PDCAサイクルをもとに振り返る		
⑬	事後指導(3)今後の自己課題 保育者の専門性について DVD「幼児とのかかわりを考えるシリーズ」 グループワーク			事前学習	学んだことを復習しておく		
				事後学習	様々な保育観があることを知る		
⑭	教育実習のまとめ 今後の実習に向けて 今後の課題と改善方法を明確にする・乳幼児の子ども理解			事前学習	実習での自分の課題を明確にする		
				事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する		
⑮	試験・まとめ 振り返り			事前学習	学んだことを振り返る		
				事後学習	今後の課題を見つけて学びを深める		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度)50% (授業内での取り組み、グループワーク、レポート等) 以上を総合的に評価する			教科書	『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林 『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林		
				参考資料	『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教職実践演習			担当教員	須田昂宏・伊藤直	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員としての資質・能力として統合し、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。						
一般目標	講義、模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる。						
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① ガイダンス(授業内容の説明)	事前学習	シラバスを確認する	事後学習	授業内容を復習する		
	② 模擬保育を実施するにあたって(指導案作成)	事前学習	実習を振り返る	事後学習	授業内容を復習する		
	③ 模擬保育を実施するにあたって(準備)	事前学習	実習を振り返る	事後学習	授業内容を復習する		
	④ 保育者の職務の実践的理解(1)学級運営	事前学習	実習を振り返る	事後学習	授業内容を復習する		
	⑤ 保育者の職務の実践的理解(2)安全・危機管理	事前学習	実習を振り返る	事後学習	授業内容を復習する		
	⑥ 模擬保育1(日常保育)―国語に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑦ 模擬保育2(日常保育)―算数に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑧ 模擬保育3(日常保育)―生活に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑨ 模擬保育4(日常保育)―音楽に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑩ 模擬保育5(日常保育)―図画工作に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑪ 模擬保育6(日常保育)―体育に関するもの―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑫ 模擬保育7(行事)―クリスマス会―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑬ 模擬保育8(行事)―正月―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑭ 模擬保育9(行事)―節分―	事前学習	模擬保育の準備をする	事後学習	授業内容を復習する		
	⑮ 総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)	事前学習	授業内容を振り返る	事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・実習での取り組みや気づきは実習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしたりするように心がけること。						
成績評価の方法	試験 40% 模擬保育での発表 40% 提出物 20% ※履修カルテの提出がない場合はD評価			教科書	特に指定しない		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理 I			担当教員	吉村 壽子	保育士として実務経験あり	
全体目標	今日の子どもの置かれた状況を知り、保育の意義について、乳幼児期の特性などを学び、保育観や子ども観を養い、視野を広げていくことを目的とする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな子どもに目を向け、「保育」を考える基本的な視点を学び理解する。</li> <li>・幼稚園、保育所の歴史を踏まえ、「保育」の役割、現状と課題を学び、考え、これからの保育のあり方を考えられるようになる。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の概念、実態の概要をつかみ、「保育とは何か」を明確に述べる。</li> <li>・保育の全体構造を理解し、子どもの理解や保育の方法を学ぶ。</li> <li>・保育者の役割について考える。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	保育とは何か	事前学習	シラバス下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	②	現代社会と子どもの育ち	事前学習	10年前と今の環境について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	③	保育を担う施設について	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	④	保育者に求められるもの	事前学習	保育者の役割について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑤	世界の保育の歴史を学ぶ	事前学習	諸外国の保育事情について調べる	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑥	日本の保育の歩み	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑦	保育に求められる子ども観・発達観	事前学習	子ども観・発達観について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑧	保育の基本	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑨	保育の目標と内容	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑩	保育の方法と進め方	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑪	保育計画と保育の質の向上	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑫	大切な子育て支援と地域連携	事前学習	子育て支援について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑬	保育をめぐるこれからの課題について	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑭	海外の保育に目を向けてみよう	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
⑮	試験・まとめ	事前学習	授業の復習をしておく	事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学習内容について調べること、考えること、意見を共有することなどを中心に積極性をもって学習に取り組みましょう。</li> <li>・日頃から子どもを取り巻く環境に興味関心を向けるようにしましょう。</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加状況、受講態度	20%	教科書	無し プリントを配布			
	提出、発表	20%		参考資料	実践を創造する『保育原理』(株)みらい		
	試験	60%					

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理Ⅱ			担当教員	安江 秋		
全体目標	・「保育とは何か」「保育者に求められる専門性とは何か」について自分なりの考えを持てるようになる。						
一般目標	・諸外国の保育制度の成立の過程について、その原点を中心に学び、日本の保育の現状と課題を理解する。 ・諸外国から導入された独特な保育方法について概要をしり、その長所と短所について考察する。						
到達目標	・「子どもの人権を尊重した」保育の方法、制度はどうあるべきかについて自分なりの考えを持っている。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	保育とは何かを再考する。			事前学習 保育原理Ⅰで学んだ事をまとめてくる。 事後学習 学習を振り返りレポートにまとめる。		
	②	西欧の保育思想1 コメニウス・ルソー・ペスタロッチ			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	③	西洋の保育思想～日本の保育内容の変遷 1 フレーベル主義保育の実際1(実習:恩物<積木>)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	④	フレーベル主義保育の実際2(実習:手技<切り紙>)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑤	日本の保育内容の変遷 2 モンテッソーリメソッドの登場			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑥	モンテッソーリメソッドの実際1 (講義:3歳未満の保育の理論と方法について)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑦	モンテッソーリメソッドの実際2 (講義:3歳以上の保育の理論と方法について)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑧	モンテッソーリメソッドの実際3 (実習:3歳未満対象の教具)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑨	モンテッソーリメソッドの実際4 (実習:3歳以上対象の教具)			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑩	西洋の幼児音楽教育メソッド ダルクローズ・コダーイ・オルフ・シュールベルク			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑪	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち1			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑫	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち2			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑬	諸外国における幼児教育思想・制度の成り立ち3			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑭	日本の保育内容の変遷 3 系統的保育案の実際			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑮	試験・まとめ			事前学習 試験に備えて総復習してくる。 事後学習 今後の課題を明らかにする		
学習上の留意点	*保育思想・メソッドにてについては①「いつ」②「どこで」③「誰が(関係する人物の名前、職業、著作)」④「何を(その人物が創った施設の名前、特徴など)」⑤「なぜ、何のために(その施設を創った目的・理由)」⑥「どのように」(保育の特色など)を、メモしながら読むこと。小テストのための復習も上記と同様のポイントを勉強してくること。						
成績評価の方法	講義中に課したレポート・小テスト 20% 講義への取り組み(参加姿勢・受講態度)20% 最終試験(小テストの問題の総まとめ・論述問題は講義中のレポートから出題する) 60%			教科書	使用しない。講義の時に資料を配布する。		
				参考資料	乙訓稔『西洋近代幼児教育思想史』(東信堂), 玉成恩物研究会『フレーベルの恩物であそぼう』(フレーベル館),相良敦子『ママ、ひとりでするのを手伝ってね!』(講談社)		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭福祉			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	子どもと家庭の現状と課題・展望について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。						
一般目標	現代社会における子ども家庭福祉の意義、現状と課題について理解する。 子どもの人権擁護について理解する。						
到達目標	子ども家庭福祉の歴史的変遷を踏まえ、制度や法律を知り、体系的に子ども家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 子ども家庭福祉の理念と概念 現代社会と子ども家庭福祉	事前学習	教科書P.10～P.13、20～24	予習	理念と概念、現代社会と子どもの家庭福祉の復習		
	② 子ども家庭福祉の歴史的変遷、諸外国の動向	事前学習	教科書P.14～P.19	予習	歴史的変遷、諸外国の動向の復習		
	③ 子どもの人権擁護	事前学習	教科書P.26～P.35	予習	子どもの人権擁護の復習		
	④ 子どもの家庭福祉の制度と実施体制	事前学習	教科書P.36～P.45	予習	制度と実施体制の復習		
	⑤ 子ども家庭福祉の施設と専門職	事前学習	教科書P.46～P.57	予習	施設と専門職の復習		
	⑥ 母子保健と子育て支援サービス	事前学習	教科書P.58～P.65	予習	母子保健と子どもの健全育成の復習		
	⑦ 多様な保育へのニーズへの対応	事前学習	教科書P.66～P.71	予習	多様な保育へのニーズへの対応の復習		
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)	事前学習	①～⑦の授業の復習		未獲得箇所の復習		
	⑨ 貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭等への対応	事前学習	教科書P.72～P.75、80～85	予習	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応の復習		
	⑩ 子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止	事前学習	教科書P.76～P.79	予習	虐待・DVとその防止の復習		
	⑪ 社会的養護	事前学習	教科書P.86～P.89	予習	社会的養護の復習		
	⑫ 障害のある子どもへの対応	事前学習	教科書P.90～P.93	予習	障害のある子どもへの対応の復習		
	⑬ 少年非行等への対応、子どもを取り巻く現状と課題	事前学習	教科書P.94～P.97、104～121	予習	子どもを取り巻く現状の復習		
	⑭ 次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進 地域における連携・協働とネットワーク	事前学習	教科書P.122～P.135	予習	次世代育成支援と地域との連携とネットワークの復習		
	⑮ 定期試験・講評	事前学習	これまでの学びの復習及び確認			講評の内容の整理と把握	
学習上の留意点	・毎回教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。						
成績評価の方法	定期試験	60%	教科書	蒲田雅夫編著 『新・子ども家庭福祉-私たちは子どもに何ができるか-』 教育情報出版			
	中間学習確認	30%		参考資料	石垣儀郎 編集 「援助者を目指す人の社会福祉」 株式会社 創成社		
	受講態度	10%					



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会福祉			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	社会福祉の側面から、「保育の専門家」として社会から求められる役割や専門性について学ぶ。ソーシャルワークを実践するために必要な基礎的知識を学ぶ。						
一般目標	① 社会福祉の概念や、社会制度として社会福祉、その実施体系について学ぶ。 ② 社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 ③ 社会福祉の動向や課題について理解する。						
到達目標	社会福祉の基礎を幅広く学び、子どもや家庭に起こりうる問題やそれに対応する社会制度、実践について理解を深める。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	① 現代社会における社会福祉の意義	事前学習	保育士が社会福祉を学ぶ理由を考察する		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	② 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	③ 児童の人権擁護と社会福祉	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	④ 家庭支援と社会福祉	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑤ 社会福祉の制度と法体系	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑥ 社会福祉行政と実施機関	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑦ 社会福祉施設等	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑧ 社会福祉の専門職・実施者	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑨ 社会保障および関係制度の概要	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑩ I 相談援助の意義と原則 II 相談援助の方法と技術	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑪ 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑫ 少子高齢化社会への対応	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑬ 社会福祉の推進とネットワーク	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑭ 社会福祉の諸外国の動向	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習	
⑮ 試験・まとめ	事前学習	教科書該当部分の下読み		事後学習	授業の資料・教科書の復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を毎回持参すること。</li> <li>・適宜レポート課題や各種ワーク等を実施するので積極的に参加すること</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み、積極性 20%</li> <li>・課題の提出状況、内容 40%</li> <li>・最終試験 40%</li> </ul>			教科書	新基本保育シリーズ④ 「社会福祉」 中央法規出版		
				参考資料			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。</li> <li>・保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に対する支援の体制について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	子ども家庭支援の意義と必要性			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	②	子ども家庭支援の目的と機能			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	③	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	④	子育て家庭の福祉を図るための社会資源			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑤	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑥	子どもの育ちの喜びの共有			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
	⑦	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援			事前学習	教科書該当部分の下読み	
					事後学習	授業の資料・教科書の復習	
⑧	保育士に求められる基本的な態度			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑨	家庭の状況に応じた支援			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑩	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑪	子ども家庭支援の内容と対象			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑫	保育所等を利用する子どもの家庭への支援			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑬	地域の子育て家庭への支援			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑭	要保護児童およびその家庭に対する支援 子育て支援に関する課題と展望			事前学習	教科書該当部分の下読み		
				事後学習	授業の資料・教科書の復習		
⑮	定期試験・講評			事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
				事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参すること。</li> <li>・適宜グループワークなどを行うので、積極的に参加すること。</li> <li>・レポート課題が出されたときは、期日を守り、指定文字数の8割以上で作成し提出すること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 50%</li> <li>・提出物 30%</li> </ul>			教科書	新基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 中央法規		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)20%を勘案して評価する。				参考資料		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	社会的養護 I			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として実務経験有		
全体目標	社会的養護が担う責任と役割を理解し、保育専門職としての質の向上を目指す							
一般目標	社会的養護の現状と課題について学習する。 社会的養護における児童の権利擁護や倫理について学ぶ。							
到達目標	日常生活援助、治療的援助、法制度等について学び、代替的養育で行われる支援の在り方を学ぶ。							
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	現代社会における社会的養護のニーズ			事前学習 事後学習	社会的養護とは何か調べる 児童養護問題について調べる		
	②	社会的養護の歴史的変遷と理念と概念			事前学習 事後学習	児童福祉施設を創設した人物を調べる 社会的養護の理念を復習する		
	③	社会的養護における児童の権利擁護と倫理及び責務			事前学習 事後学習	子どもの権利条約について調べる 子どもの最善の利益についての復習		
	④	社会的養護に関わる法令・実施体制			事前学習 事後学習	児童福祉法について調べる 児童福祉法総則を読む		
	⑤	施設養護の基本原則と支援体制			事前学習 事後学習	社会的養護の原則を調べる 自立支援についての復習		
	⑥	施設養護の特性と実際(養護系施設)			事前学習 事後学習	児童福祉施設の種類を調べる 学習した施設についての復習		
	⑦	施設養護の特性と実際(障害・治療系施設)			事前学習 事後学習	障害の種類について調べる 学習した施設についての復習		
	⑧	中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)			事前学習 事後学習	7回までの内容確認 理解不足の項目の復習		
	⑨	施設の運営管理			事前学習 事後学習	施設に勤める専門職を調べる 人権侵害防止について復習		
	⑩	家庭養護の特性と実際			事前学習 事後学習	ファミリーホームについて調べる 里親制度についての復習		
	⑪	社会的養護における専門知識 (虐待予防などに関する事項)			事前学習 事後学習	子ども虐待についての時事を調べる 虐待予防について考える		
	⑫	社会的養護における専門技術 (被虐待対応などに関する事項)			事前学習 事後学習	被虐待児について調べる 虐待対応についての復習		
	⑬	社会的養護と地域・在宅支援			事前学習 事後学習	地域・在宅支援に求められる役割とは何か調べる 地域の支援施設について調べる		
	⑭	社会的養護の課題			事前学習 事後学習	13回までの内容を振り返る 社会的養護で保育士に求められている事		
	⑮	試験とまとめ			事前学習 事後学習	重要事項について説明できるよう整理する。 理解不足箇所の復習		
学習上の留意点	日常生活の中で子どもの福祉に関するニュースや課題などに関心を持って見ておくようにしてください 子どもの人権や権利擁護についても意識を持って臨んでください							
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%			教科書	石垣儀郎 編集 「援助者を目指す人の社会福祉」 株式会社 創成社			
				参考資料	大竹智、山田利子 編 学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 保育と社会的養護 I 株式会社 みらい			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援の心理学 I			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を踏まえ、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。						
一般目標	子どもの育ちに関する発達心理学的視点、および家族・家庭に関する社会学的視点を学ぶ。 保育者として子どもとその家庭を支援する際の基礎的な知識を習得する。						
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション 発達理論とは	事前学習	事後学習	事前学習	事後学習	シラバスを確認する 授業内容を振り返る	
	② 乳児期の発達	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	③ 幼児期の発達	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	④ 学童期・青年期の発達	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑤ 成人期・老年期の発達	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑥ 家族・家庭の意義と機能	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑦ 親子関係・家族関係の理解	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑧ 子育て経験と親としての育ち	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑨ 子育てを取り巻く社会的状況	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑩ ライフコースと仕事・子育て	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑪ 多様な家族とその理解	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑫ 特別な配慮を要する家庭	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑬ 子どもの生活・生育環境とその影響	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑭ 子どものこころの健康に関わる問題	事前学習	事後学習	教科書の該当箇所を予習する	授業内容を振り返る		
	⑮ 試験、まとめ	事前学習	事後学習	これまでの学びを確認する	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書 参考資料	『子ども家庭支援の心理学』中央法規 毎回資料を配布または提示する。		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子ども家庭支援の心理学Ⅱ			担当教員	濱家 徳子		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解することができる。						
一般目標	家族・家庭の意義や機能を理解し、親子・家族関係等について発達の観点から理解を深めることを目指す。						
到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎を習得し、発達課題等について理解し、説明できる。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解し、親子・家族関係等について発達の観点から理解を深め説明できる。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション				事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	② 乳幼児期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③ 学童期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④ 青年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤ 成人期・老年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑥ 家族・家庭の意義と機能				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑦ 親子関係・家族関係の理解				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑧ 子育てを取り巻く社会的状況				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑨ ライフコースと仕事・子育て				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑩ 多様な家族とその理解				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑪ 配慮を要する家庭				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑫ 子どものストレス				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑬ 子どもに見られる症状				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑭ 発達障害				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの学びの確認		
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り		
学習上の留意点	主体的に予習と復習を行い、わからないことはそのままにせず積極的に質問すること。						
成績評価の方法	平常点(提出物、受講態度等)(30%) 筆記試験(70%)			教科書	なし		
				参考資料	『子ども家庭支援の心理学』中央法規 毎回資料を配布または提示する。		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子どもの保健			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康増進を図る保健活動の意義と他職種間との連携・協働を理解する。</li> <li>子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。</li> <li>子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育場面での保健活動と他職種との連携・協働を知る。</li> <li>子どもの心身の特徴と発育・発達を理解する。</li> <li>子どもの疾病の予防及び適切な対応ができる。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心身の健康に関わる保健活動の意義と目的が理解できる。</li> <li>子どもの生理機能、運動機能を理解する。</li> <li>子どもにみられる主な疾患を理解する。</li> </ul>						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	生命保持と情緒安定に関わる保健活動の意義と目的 健康の概念と健康指標			事前学習 事後学習	教科書p9～p13を確認 教科書で復習する	
	②	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題			事前学習 事後学習	教科書p13～p18を確認 教科書で復習する	
	③	生物としての人の成り立ち 乳幼児期の身体発育の概要			事前学習 事後学習	教科書p19～p27を確認 教科書で復習する	
	④	運動機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p27～p29を確認 教科書で復習する	
	⑤	呼吸機能・循環機能・免疫機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p30～p32を確認 教科書で復習する	
	⑥	消化機能・尿排泄・体温調節機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p32～p35を確認 教科書で復習する	
	⑦	内分泌機能・感覚機能・神経機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p35～p40を確認 教科書で復習する	
	⑧	発達に即応した基本的生活習慣の形成			事前学習 事後学習	教科書p41～p58を確認 教科書で復習する	
	⑨	健康状態の観察 心身の不調等の早期発見 発育・発達の把握と健康診断 身体発育の評価			事前学習 事後学習	教科書p59～p71を確認 教科書で復習する	
	⑩	子どもの疾病の特徴 感染症と予防接種			事前学習 事後学習	教科書p73～p79を確認 教科書で復習する	
	⑪	感染症 先天異常 アレルギー疾患			事前学習 事後学習	教科書p80～p89を確認 教科書で復習する	
	⑫	消化器疾患 呼吸器疾患 循環器疾患 血液疾患			事前学習 事後学習	教科書p89～p92を確認 教科書で復習する	
	⑬	神経系疾患 腎泌尿生殖器疾患 皮膚疾患			事前学習 事後学習	教科書p92～p95を確認 教科書で復習する	
	⑭	整形外科疾患 眼・耳の疾患 内分泌・代謝疾患 SIDS			事前学習 事後学習	教科書p95～p100を確認 教科書で復習する	
⑮	定期試験 まとめ			事前学習 事後学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく 総復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>初日に話す授業マナーを守りましょう。</li> <li>積極的に授業に参加しましょう。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験100%			教科書	『子どもの保健』中根淳子他編 ななみ書房		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位	
科目名	子どもの食と栄養			担当教員	大谷 香代			
全体目標	子どもの栄養と食生活は、心身の発達に重要である。日々の食事の目的と意義を考え、食の知識や実践力を身につけることを目標とする。また、子供を取り巻く食生活の現状を理解し、食物アレルギーなども含め、どう対応するべきかを考える。							
一般目標	食を学ぶにあたり、生涯においての食に関する特徴や問題点を意識し、各時期に応じた正しい食の知識を身につける。また、子どもの食生活を学ぶことを通して、保育者としても食に関しての知識を身につけ、自分自身の食生活も見直す。							
到達目標	子どもの個々の食生活の問題点を探り、個々に合わせた食事指導等を行えることを目指す。自分自身の食生活を管理した上で、子どもや保護者に対しての食育を行える保育士を目指す。							
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	① 子どもの健康と食生活の意義	事前学習	テキストp10～21	予習	事後学習	p20	演習課題	
	② 栄養に関する基礎知識①(炭水化物、脂質、たんぱく質)	事前学習	テキストp22～27	予習	事後学習	各栄養素の働きをまとめる		
	③ 栄養に関する基礎知識②(ビタミン、ミネラル、水分)	事前学習	テキストp27～33	予習	事後学習	各栄養素の働きをまとめる		
	④ 栄養に関する制度	事前学習	テキストp36～46	予習	事後学習	p47		
	⑤ 妊娠期と授乳期の食生活	事前学習	テキストp48～58	予習	事後学習	p60		
	⑥ 乳汁期の栄養①(母乳栄養)	事前学習	テキストp63～65	予習	事後学習	母乳栄養の利点欠点をまとめる		
	⑦ 乳汁期の栄養②(人工乳栄養)	事前学習	テキストp65～68	予習	事後学習	人工乳栄養の利点欠点をまとめる		
	⑧ 離乳期の栄養	事前学習	テキストp68～74	予習	事後学習	p75		
	⑨ 幼児期の発育・発達と食生活	事前学習	テキストp76～86	予習	事後学習	p88		
	⑩ 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	事前学習	テキストp144～158		事後学習	p159		
	⑪ アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養	事前学習	テキストp161～168		事後学習	p169		
	⑫ 食育の基本と内容	事前学習	テキストp117～128	予習	事後学習	p130		
	⑬ 演習 食育年間計画表の作成	事前学習	食育を考える			事後学習	食育に関わる内容の復習	
	⑭ 演習 食育媒体の作成	事前学習	幼児の食の課題を考える			事後学習	演習以外の食育媒体も考える	
⑮ 試験、まとめ	事前学習	試験出題範囲の勉強/まとめ			事後学習	総復習		
学習上の留意点	子供や保護者に対しての食育を考え、適切な食育を行えるようにすることを意識する。 自分を取り巻く食環境において、食の外部化、和食離れ、朝食習慣、食品ロスなど身近な食の問題を考える。							
成績評価の方法	定期試験 70% 提出物、平常点(授業参加状況、受講態度など) 30%			教科書	子どもの食と栄養 第2版 羊土社			
				参考資料				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	乳児保育 I			担当教員	加藤 多美	保育士として 実務経験あり	
全体目標	乳児保育の意義と目的及び役割について理解し、今日の乳児保育を取り巻く環境と課題について学ぶことを目標とする。乳児の発達を踏まえた保育内容と、保護者や地域との連携について理解する。						
一般目標	3歳未満児の発達の特徴について理解するとともに、職員間の連携や家庭との連携を想定したうえで、保育者としてどのようにかかわればよいかを理解する。						
到達目標	乳児保育の意義や役割について理解する。 3歳未満児の発達過程や生活について理解する。 乳児保育における職員間の連携、保護者や地域関係機関との連携について理解し実践に活かそうとすることができる。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション 乳児保育とは何か				事前学習	乳児保育とは何か考える	
					事後学習	乳児保育について自分の考えをまとめる	
	② 乳児保育の目的と役割				事前学習	乳児保育の目的や役割について考える	
					事後学習	乳児保育の目的や役割についてまとめる	
	③ 乳児保育の基本				事前学習	乳児保育の基本について予習	
					事後学習	乳児保育の基本についてまとめる	
	④ 0・1・2歳児の発達				事前学習	0・1・2歳児の発達について考える	
					事後学習	0・1・2歳児の発達をまとめる	
	⑤ 乳児(0歳児)の保育内容				事前学習	乳児(0歳児)の保育内容について考える	
					事後学習	乳児(0歳児)の保育内容についてまとめる	
	⑥ 1歳以上3歳未満児の保育内容				事前学習	1歳以上3歳未満児の保育内容について考える	
					事後学習	1歳以上3歳未満児の保育内容についてまとめる	
	⑦ 乳児の生活と遊びの基本的事項				事前学習	乳児の生活と遊びの基本的事項について考える	
					事後学習	乳児の生活と遊びの基本的事項についてまとめる	
⑧ 乳児の生活の基本				事前学習	乳児の生活の基本について考える		
				事後学習	乳児の生活の基本についてまとめる		
⑨ 乳児の遊び				事前学習	乳児の遊びについて考える		
				事後学習	乳児の遊びについてまとめる		
⑩ 乳児保育の環境構成				事前学習	乳児保育の環境構成について考える		
				事後学習	乳児保育の環境構成についてまとめる		
⑪ 乳児保育における全体的な計画				事前学習	乳児保育における全体的な計画を考える		
				事後学習	乳児保育における全体的な計画をまとめる		
⑫ 乳児保育における子育て支援				事前学習	乳児保育における子育て支援について考える		
				事後学習	乳児保育における子育て支援についてまとめる		
⑬ 乳児保育における連携				事前学習	乳児保育における連携について考える		
				事後学習	乳児保育における連携をまとめる		
⑭ 一人1人を健やかに育てていくために				事前学習	乳児保育の重要性について考える		
				事後学習	乳児保育の重要性をまとめる		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	配布資料や学習内容を見直す		
				事後学習	乳児保育における自己課題を考える		
学習上の留意点	3歳未満児についての理解を深め、乳児保育における保育者の役割について自ら考えるようにする。事例検討や話し合いの際は積極的に参加すること。						
成績評価の方法	平常点(受講態度)	30%			教科書	講義で学ぶ乳児保育 わかば社	
	提出物	20%				参考資料	
	定期試験	50%					
	以上を総合的に評価する						



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	乳児保育Ⅱ			担当教員	鋤柄 則子	保育士として実務経験有	
全体目標	社会の変化から、保育所や認定子ども園に求められる期待の大きさを理解し、乳児一人ひとりを大切にできる保育観を育む。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の子どもたちの生活と遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。</li> <li>・乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくために「乳児保育」の学びを深める。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関りの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・3歳未満児保育における保護者や地域の関係機関との連携について理解する。</li> <li>・乳児保育における計画の作成について具体的に理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	乳児の発達と保育(0・1歳児の心身の発達)	事前学習 事後学習	教科書P10～22までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	②	乳児の発達と保育(2歳児の心身の発達) 演習:絵本の読聞かせ・レポート作成	事前学習 事後学習	教科書P22～33までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	③	乳児保育の内容と方法 演習:絵本の読聞かせ・だっこ・おんぶ	事前学習 事後学習	教科書P34～51までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	④	乳児保育の内容と方法 演習:調乳・授乳・離乳食の援助・沐浴	事前学習 事後学習	教科書P52～61までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑤	乳児保育の内容と方法 演習:絵本の読聞かせ・あそびの実践例作成	事前学習 事後学習	教科書P62～80までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑥	乳児保育の内容と方法 演習:あそび文化の実践とレポート作成	事前学習 事後学習	教科書P81～87までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑦	乳児保育の内容と方法 演習:おもちゃの作成・ふれあい遊び	事前学習 事後学習	おもちゃ作成と実践の準備をする 学びを振り返り復習をする			
	⑧	保育の記録と計画 演習:エピソード記述	事前学習 事後学習	教科書P88～95までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑨	保育の計画 演習:指導計画(日案)の作成	事前学習 事後学習	教科書P95～107までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑩	保育の記録と計画 演習:指導計画(日案)に基づいた模擬実践	事前学習 事後学習	模擬実践の準備と練習 学びを振り返り復習をする			
	⑪	乳児保育と子どもの発達・親としての発達 演習:親としての発達に関連する意見交流	事前学習 事後学習	教科書P108～125までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑫	保育士のあり方をめぐって 演習:複数担任、演習課題のレポート作成	事前学習 事後学習	教科書P126～137までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑬	乳児保育のあゆみ 演習:多様化する乳児保育についての意見交	事前学習 事後学習	教科書P138～161までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑭	保育所における子育て支援 演習:「育みたい資質・能力」のレポート作成	事前学習 事後学習	教科書P162～174までを読んでおく 学びを振り返り復習をする			
	⑮	試験・まとめ	事前学習 事後学習	今までの学習の振り返りを行って 試験内容について振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から身近な子どもや親に関心を持ち、観る力をつける。</li> <li>・子どもに関わるニュースや保育制度に関心を持ち、情報収集する。</li> <li>・授業での学びを実習などの保育現場と結びつけ、総合的に学べるよう努める。</li> </ul>						
成績評価の方法	・レポート・課題作成(提出物)			30%	教科書	『乳児の保育 新時代』 乳児保育研究会編 ひとなる書房	
	・試験			60%		参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省 随時必要に応じてプリントを配布する
・受講態度			10%				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子どもの健康と安全			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。</li> <li>・ 子どもの体調不良等に対する適切な対応について理解する。</li> <li>・ 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画や評価について理解する。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育における保健活動の内容を理解する。</li> <li>・ 保育における保健的対応に関連する各種ガイドラインを理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。</li> <li>・ 体調不良などに対する適切な対応を理解する。</li> <li>・ 感染症対策、衛生管理、および安全管理・教育についての取り組みを理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	子どもの健康と保育環境	オリエンテーション	事前学習	教科書p1～p2を確認	事後学習 教科書で復習する	
	②	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康	および安全の管理	事前学習	教科書p2～p10を確認	事後学習 教科書で復習する	
	③	衛生管理		事前学習	教科書p11～p26を確認	事後学習 教科書で復習する	
	④	事故防止および安全管理		事前学習	教科書p27～p40を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑤	危機管理と災害への備え		事前学習	教科書p41～p51を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑥	体調不良や傷害が発生した場合の対応		事前学習	教科書p52～p77を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑦	子どもと薬		事前学習	教科書p78～p82を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑧	応急手当と一次救命処置		事前学習	教科書p83～p118を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑨	感染症の集団発生の予防	予防接種	事前学習	教科書p119～p143を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑩	感染症発生時と罹患後の対応		事前学習	教科書p143～p148を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑪	保育における保健的対応の基本的な考え方		事前学習	教科書p149～p179を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑫	3歳未満児への対応		事前学習	教科書p180～p213を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑬	個別的な配慮を要する子どもへの対応	障害をもつ子への対応	事前学習	教科書p214～p245を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑭	健康および安全の管理の実施体制		事前学習	教科書p246～p259を確認	事後学習 教科書で復習する	
	⑮	定期試験	まとめ	事前学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく	事後学習 総復習	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演習の内容によりエプロン・タオル、のり、ハサミ、輪ゴム等を持参していただくことがあります。</li> <li>・ 持ち物は授業時に伝達いたします。</li> <li>・ 積極的な態度で演習に臨んでください。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験50%</li> <li>・ 受講態度(演習に臨む姿勢・準備・取組・片付け・振返り)50%</li> </ul>			教科書	『これだけはおさえたい!保育者のための子どもの健康と安全』改訂版 鈴木美枝子編 創成社		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	障がい児保育			担当教員	後藤 加代子		保育士として実務経験有	
全体目標	障がい児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障がいのある子どもへの理解を深める。 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 障がいのある子どもの生活上の困難を理解し、集団の中で育ち合える教育・保育の方法を知る。							
一般目標	子どもの発達過程を理解し、障がいのある子どもの特性や障がい児及びその保育の方法について理解する。 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境の構成について学ぶ。							
到達目標	障がい児やその他の特別な配慮の必要な子どもの保育における具体的な保育の方法や支援計画などの作成について理解する。							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	障がい児保育を支える理念と歴史の変遷			事前学習	シラバス・教科書P14～23を読む		
					事後学習	資料を読み直す		
	②	障がい児保育の現状 (インクルージョンと合理的配慮の理解)			事前学習	教科書P24～58を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	③	障がいの理解と発達援助・言語の障害の理解と援助			事前学習	子どもの発達について調べる。教科書P98～107		
					事後学習	配布資料と教科書を読み直す		
	④	肢体不自由児の理解と援助			事前学習	教科書P60～71を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑤	知的障がい児の理解と援助			事前学習	教科書P72～78を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑥	視覚・聴覚・言語障がい児の理解と援助			事前学習	教科書P79～97を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
	⑦	発達障がい児(ADHD,LD)の理解と援助			事前学習	教科書P108～116を読む		
					事後学習	配布資料・教科書を読み直す		
⑧	発達障がい児(ASD)の理解と援助			事前学習	教科書P118～126を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑨	重度心身障がい児と医療的ケア児の理解と援助			事前学習	教科書P128～137読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑩	その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援			事前学習	教科書142～153を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑪	指導計画と個別の支援計画			事前学習	教科書P156～169を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑫	個々の発達を促す生活や遊びの環境			事前学習	教科書P170～234を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑬	保護者や家庭に対する理解と支援及び小学校などの関係機関との連携			事前学習	教科書P235～239を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑭	障がい児とその他特別な配慮を必要とする子どもの保育に関する現状と課題			事前学習	教科書242～262を読む			
				事後学習	配布資料・教科書を読み直す			
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業での課題や小テストなどを参考に学び直す			
				事後学習	障がい児保育及び試験内容を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や配付資料を読み、今日のまとめを作成し授業後の振り返りをする。</li> <li>実習などの機会積極的に関わり、気になる子などへの配慮の方法や保育の方法を学ぶ。</li> <li>日常生活の中で障がい者に向けた対応が保育の中でどのように活かしていけるかを考える。</li> <li>授業を欠席した場合には資料を取りにくるようにすること。</li> </ul>							
成績評価の方法	平常点(受講姿勢・発表)20%			教科書	子どもが共に育つための「障害児保育」 萌文書林 齋藤勇紀・守 巧 著編			
	課題提出 20%				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布資料 ・障がい児保育 中山書店</li> <li>保育所保育指針解説</li> <li>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説</li> </ul>		
定期試験 60%								

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	社会的養護Ⅱ			担当教員	寺井 陽一		児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。							
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。							
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。							
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	自己紹介 社会的子育てを考える			事前学習	自己PRを考える		
					事後学習	配布プリント確認		
	②	自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場			事前学習	自己PRを考える		
					事後学習	配布プリント確認		
	③	児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る			事前学習	児童養護施設を調べる		
					事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	④	虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る			事前学習	配布プリント下読み		
					事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	⑤	児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 目黒区5歳女児虐待死事件の検証			事前学習	配布プリント下読み		
					事後学習	5歳女子虐待死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑥	児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証			事前学習	配布プリント下読み		
					事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑦	職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る			事前学習	配布プリント下読み		
					事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く		
⑧	施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解			事前学習	配布プリント下読み			
				事後学習	配布プリント確認			
⑨	子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解			事前学習	配布プリント下読み			
				事後学習	配布プリント確認			
⑩	問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)			事前学習	問題行動の実際の例を考える			
				事後学習	問題行動の実際の対応策を考える			
⑪	性と生についての取り組み 性に関するQ&A			事前学習	配布プリント下読み			
				事後学習	性に関するQ&Aの復習			
⑫	愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり			事前学習	配布プリント下読み			
				事後学習	愛着障害についてまとめる			
⑬	施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える			事前学習	配布プリント下読み			
				事後学習	自立支援計画を作成する			
⑭	自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方			事前学習	実習の抱負を箇条書きにする			
				事後学習	実習の課題をまとめる			
⑮	試験、まとめ			事前学習	テスト(小論文)を考える			
				事後学習	総復習			
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること							
成績評価の方法	定期試験の結果	60%		教科書	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編			
	小レポート	20%						
	授業参加状況・受講態度	20%		参考資料				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	児童文化			担当教員	長野 未来		保育士として実務経験有	
全体目標	保育者として児童文化財の魅力や意義を知り、子どもの遊びの楽しさを共感することを土台として保育を展開していく視点を身につける。							
一般目標	絵本・紙芝居・パネルシアター・伝承あそびなどの具体的なあそびの意義や保育での活用方法などを習得する。							
到達目標	①子どもの発達段階を理解して、年齢に応じた児童文化財を選び子どもと関わっていく力を培う。 ②表現活動の技術を活かし、子どもの遊びに積極的に関わりながら保育者として、実践に活かす事ができる。							
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	① 保育のなかの児童文化を考える	事前学習	事後学習	教科書Ⅰ部 1-1,1-2を読んでおく	学びを振り返り、復習をする			
	② 児童文化の現状と保育実践との関連	事前学習	事後学習	教科書Ⅰ部 1-3,1-4,1-5を読んでおく	学びを振り返り、復習をする			
	③ 絵本・紙芝居	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-1,2-2を読んでおく	学びを振り返り、復習をする			
	④ 童謡・人形劇	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-3,2-4を読んでおく	授業で紹介した絵本を読んで児童文化に触れる			
	⑤ エプロンシアター・パネルシアター・ペープサート	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-5, 2-6, 2-7を読んでおく	学びを振り返り、実践を復習する			
	⑥ 手遊び・玩具	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-8, 2-9を読んでおく	学びを振り返り、演習する			
	⑦ 伝承遊び・折り紙・あやとり	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-10, 2-12, 2-13を読んでおく	学びを振り返り、実践を復習する			
	⑧ わらべうた	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-11を読んでおく	学びを振り返り、実践を復習する			
	⑨ ゲーム・コンピュータ	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-14, 2-15を読んでおく	学びを振り返り、復習する			
	⑩ 保育実践を豊かにする児童文化財 (演習・準備)	事前学習	事後学習	これまでの学びを振り返る	シアター文化財の準備をする			
	⑪ シアタースタイルの児童文化財 (演習・作成)	事前学習	事後学習	シアター演習の発表準備、練習をする	シアター文化財を完成させる			
	⑫ シアタースタイルの児童文化財 (演習:1回目の発表・意見交換)	事前学習	事後学習	シアター演習発表の準備、練習をする	自分の発表や他の人の発表を振り返り2回目の準備をする。			
	⑬ シアタースタイルの児童文化財 (演習:2回目の発表)	事前学習	事後学習	シアター演習発表の準備、練習をする	2回の発表を振り返り、要点を確認する。			
	⑭ 伝承文化・年中行事・児童文化施設	事前学習	事後学習	教科書Ⅱ部 2-15,2-16,2-17を読んでおく	今までの学びを振り返りまとめておく			
	⑮ 筆記試験・まとめ	事前学習	事後学習	今までの学習内容を振り返り要点を把握する	試験内容について振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から児童文化財に触れる機会を多く持つよう心がける。</li> <li>・児童文化財そのものだけでなく、文化財の特徴や活用可能性、使用する上での子どもの姿を常に想像して学ぶ。</li> <li>・子どもに遊びを伝承するという意識で実技を身につけ、より多くの乳幼児と触れ合い、児童文化の実践を楽しみながら行っていくようにする。</li> <li>・いろいろな絵本を沢山読む。</li> </ul>							
成績評価の方法	平常点(受講態度・授業参加状況など)	20%	教科書	『児童文化がひらく豊かな保育実践』 中坪史典 他 編著 教育情報出版				
	課題・作品提出	30%	参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> <li>・子どもの生活と児童文化 川北典子・村川京子・松崎行代 編著 創元社</li> <li>・子ども育ちを支える児童文化 川北典子著 あいり出版</li> <li>・絵本:こどもと語り合う道具 庭しんぶん編 庭プレス</li> </ul>				
	試験	50%						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	子育て支援			担当教員	後藤 加代子		保育士として実務経験有	
全体目標	保育者の行う専門性を背景として、保護者に対する相談、助言、情報提供などが求められる現場において、必要となる基本的な知識と技術を習得することを目標とする。							
一般目標	現代の家庭を取り巻く環境や多様なニーズを踏まえ、保育者として求められる様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践を通して具体的に理解する。							
到達目標	保護者支援の基本を理解する。 保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 保育者が行う子育て支援の特性を理解し、様々な場面で対応出来る技術を身につける。							
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	①	子育て支援とは何か			事前学習	シラバス・教科書P4～5を読む		
					事後学習	自分が出来る子育て支援は何かを考える		
	②	子育て支援の意義(社会的背景の把握)			事前学習	教科書P10～13を読む		
					事後学習	事例についてまとめる		
	③	子育て支援の基本的姿勢			事前学習	教科書P26～29を読む		
					事後学習	事例についてまとめる		
	④	子育て支援の基本技術			事前学習	教科書P35～37を読む		
					事後学習	支援に必要なコミュニケーション技法を見直す		
	⑤	保育者による子育て支援の特性 (気になる子どもの保護者対応)			事前学習	P18～P21を読む		
					事後学習	事例についてまとめる		
	⑥	日常保育の特性と専門性を活用した支援① (子ども同士のトラブルの際の保護者への対応)			事前学習	教科書P60～63を読む		
					事後学習	保育者として保護者対応について考える		
	⑦	日常保育の特性と専門性を活用した支援② (文書やおたよりを利用した支援)			事前学習	教科書P66～71を読む		
					事後学習	保育者として保護者対応について考える		
⑧	日常保育の特性と専門性を活用した支援③ (行事を利用した外国籍の保護者への対応)			事前学習	教科書P76～79を読む			
				事後学習	保育者として保護者対応について考える			
⑨	支援の実践・記録・評価			事前学習	教科書P50～55を読む			
				事後学習	記録の方法などをまとめる			
⑩	職員間の連携・協働や関係機関との連携			事前学習	教科書P42～45を読む			
				事後学習	子育て支援における連携機関をまとめる			
⑪	特別な配慮を必要とする子ども及び家庭に対する支援 (要保護保育児やその他多様なニーズを抱える家庭の支援を考える)			事前学習	教科書P102～P103を読む			
				事後学習	事例についてまとめる			
⑫	子どもの虐待予防と対応			事前学習	教科書を読む			
				事後学習	事例を読み虐待に対して対応を考える			
⑬	地域の子育て家庭に対する支援			事前学習	教科書P92～95を読む			
				事後学習	地域の子育て支援について考える			
⑭	保育者の行う子育て支援(現状と今後の課題)			事前学習	教科書P82～87を読む			
				事後学習	これまでの授業の内容を見直す			
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業での課題や小テストなどを参考に復習する			
				事後学習	保育者が行う子育て支援を学びから考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てにおける社会の状況に関心を持ち保育者として、子どもや保護者の現状を知る。</li> <li>・保育者として、保育の中で子育て支援を実施していくことが出来るように授業中は積極的に、事例検討やロールプレイに参加して学びを深めること。</li> <li>・欠席した場合は資料を取りにくるようにする</li> </ul>							
成績評価の方法	平常点(受講態度・発表) 20%			教科書	子育て支援-15のストーリーで学ぶワークブック 二宮祐子 萌文書林			
	課題提出 20%				参考資料	「保育所保育指針解説」厚労省・プレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府		
定期試験 60%								

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	音楽基礎			担当教員	奥野 靖子		
全体目標	子どもの音楽的表現を援助し、引き出すための、音楽全般における基礎的な知識を習得する。 子どもの歌を伸びやかに歌唱するために必要な発声、発音、表現を学習する。						
一般目標	音楽についての基礎的な知識を習得し、自身の演奏に生かすことができる。 子どもの歌の歌唱表現について学習し、子どもにとって心地よい発声、正しい日本語の発音、生き生きとした表現など、子どもの感性の芽生えを支えることのできる歌唱の力を身に着ける。						
到達目標	楽典の基礎について理解し、演奏に反映できる。 子どもの歌を表情豊かにのびのびと歌唱できる。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 保育者と音楽 子どもの音楽表現を引き出すために必要な学習とは	事前学習	事後学習	自身の音楽経験について確認しておく	配布課題		
	② 楽典(1)譜表と音名 歌唱の基礎(1)呼吸と姿勢・生活の歌	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	③ 楽典(2)音符と休符 歌唱の基礎(2)季節の歌「春1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	④ 楽典(3)リズムと拍子 歌唱の基礎(3)季節の歌「春2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑤ 楽典(4)記号、用語 歌唱の基礎(4)季節の歌「夏1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑥ 楽典(5)音程1 歌唱の基礎(5)季節の歌「夏2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑦ 楽典(6)音程2 歌唱の基礎(6)季節の歌「秋1」	事前学習	事後学習	テスト準備	設問部分の回答・歌の復習		
	⑧ 楽典(7)確認テスト 歌唱の基礎(7)季節の歌「秋2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑨ 楽典(8)音階1 歌唱の基礎(8)季節の歌「冬1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑩ 楽典(9)音階2 歌唱の基礎(9)季節の歌「冬2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑪ 楽典(10)調1 歌唱の基礎「行事の歌1」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑫ 楽典(11)調2 歌唱の基礎(11)「行事の歌2」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑬ 楽典(12)和音とコードネーム1 歌唱の基礎(12)「そのほかの歌」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
	⑭ 楽典(13)和音とコードネーム2 歌唱の基礎(13)「歌のテスト」	事前学習	事後学習	教科書の該当部分を読み込む	設問部分の回答・歌の復習		
⑮ 楽典試験	事前学習	事後学習	テスト準備	模擬試験プリント復習			
学習上の留意点	保育者にとって必要な音楽の知識を確実に習得するために、毎回の復習を欠かさないこと。 楽典の知識を演奏に生かすことができているかを常に意識すること。 子どもの歌の歌唱については、自身の歌唱が子どもにとってどのように聞こえているかを常に意識し、レパートリーを増やすこと。						
成績評価の方法	授業に対する意欲、受講態度20% 授業内試験30% 筆記試験50% 以上の総合的評価とする			教科書	音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～/楠井淳子/ふくろう出版 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
				参考資料	幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(最新版) 保育所保育指針・保育所保育指針解説(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(最新版)		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	ピアノ実技 I				担当教員	桐生・卯野・藤田他(午後) 桐生・卯野・笠木他(夜間)	ピアノ教室講師として 実務経験有	
全体目標	こどもの感性や創造性を豊かにする音楽表現の一つである、ピアノ演奏の基礎技術力と知識を身につける。							
一般目標	ピアノの基本的な奏法を習得するとともに、こどもが使用する楽器の奏法を学び、音楽理論の復習によって読譜力を向上させる。							
到達目標	個人レッスンでは習熟度別にピアノ演奏の基礎技術を高める。 グループ授業では簡易楽器の奏法を学び、楽譜を読み解くための知識を深める。							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	全体ガイダンス・楽器の取り扱い方・練習開始曲の決定			事前学習	シラバスの確認・器楽学習歴調査		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(Step I A-1、Step II B-1など) グループ授業(音程のない打楽器について)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(Step I A-2、Step II B-2など) グループ授業(合奏楽器1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(Step I A-3、Step II B-3など) グループ授業(合奏楽器2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(Step I A-4、Step II B-4など) グループ授業(合奏楽器3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(Step I A-5、Step II B-5など) グループ授業(合奏楽器4)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(Step I A-6、Step II B-6など) グループ授業(カステネットアンサンブル1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(Step I A-7、Step II B-7など) グループ授業(カステネットアンサンブル2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(Step I A-8、Step II B-8など) グループ授業(ミュージックベル)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(Step I A-9、Step II B-9など) グループ授業(リズムと拍子復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(Step I A-10、Step II B-10など) グループ授業(音程復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(Step I A-11、Step II B-11など) グループ授業(音階と調復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(Step I A-12、Step II B-12など) グループ授業(コードネーム復習)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(模擬試験)			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	指摘箇所の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。</li> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>							
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須 平常点 30% (グループ授業評価、授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)				教科書	「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 「保育士、幼稚園教諭を目指す人たちのための音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」ふくろう出版 適宜プリント教材を使用		
	以上を総合的に評価する					参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説	



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	ピアノ実技Ⅱ			担当教員	桐生・卯野・高田他(午後) 桐生・卯野・笠木他(夜間)	ピアノ教室講師として実務経験有	
全体目標	ピアノ実技Ⅰと音楽基礎で学習した技術と知識を基に、ピアノ演奏技術を向上させる。						
一般目標	保育現場で使用される生活のうたや行進曲の演奏を通して、応用的な奏法を習得し、歌唱における音楽表現を学ぶ。						
到達目標	個人レッスンの前半は教育実習に向けた生活のうた、後半は行進曲や標題音楽を習得する。グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、歌唱法について学ぶ。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	全体ガイダンス・生活のうたの位置づけ・個人レッスン開始 グループ授業(初回ガイダンス)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	説明内容の把握	
	②	個人レッスン(おはようなど) グループ授業(朝のうた1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	③	個人レッスン(おべんとうなど) グループ授業(朝のうた2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	④	個人レッスン(おかえりのうたなど) グループ授業(とんぼのめがね1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑤	個人レッスン(おはようのうたなど) グループ授業(とんぼのめがね2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑥	個人レッスン(さよならのうたなど) グループ授業(大きな栗の木の下で1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	試験曲の把握	
	⑦	中間試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(大きな栗の木の下で2)	事前学習	試験曲の練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑧	ピアノ実技中間試験・講評 グループ授業(前半のまとめ)	事前学習	試験曲の練習	事後学習	講評内容の把握	
	⑨	個人レッスン(聖者の行進など) グループ授業(合唱1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑩	個人レッスン(グランド・マーチなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑪	個人レッスン(ジョン・ブラウンズ・ボディなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑫	個人レッスン(ルイヴィル・マーチなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認	
	⑬	個人レッスン(結婚行進曲など) グループ授業(合唱2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	試験曲の把握	
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(ピアノ試験曲練習)	事前学習	試験曲の練習	事後学習	指摘箇所の確認	
⑮	ピアノ実技期末試験・講評・まとめ	事前学習	試験曲の練習	事後学習	講評内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。</li> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>						
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須				教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版 「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 適宜プリント教材を使用	
	平常点 30% (グループ授業評価、授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)					参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説
	以上を総合的に評価する						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	基礎造形			担当教員	桑原 恒和	芸術系教員として 実務経験有	
全体目標	各学生が基礎的な造形・絵画表現についての知識を、実際の制作と各指導を基に習得する事を目標とする。						
一般目標	各学生が集中して制作に専念し、各課題を楽しみながら自発的に工夫を加えつつ発展させて行く事を目標とする。						
到達目標	各学生が身近な素材を基に、将来指導する事を念頭に効果的な教育活動を行なえる様、体験を通して知識を習得する事を目標とする。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 自分の体から(1)手を描く	事前学習	事後学習	各部分の向きや厚みを意識する	指摘箇所の確認		
	② 自分の体から(2)耳を描く	事前学習	事後学習	不思議な形を描く	指摘箇所の確認		
	③ 自分の体から(3)頭部を描く	事前学習	事後学習	左右非対称を意識する	指摘箇所の確認		
	④ 音楽による想像画(1)イメージを描く	事前学習	事後学習	頭に浮かんだものを描く	指摘箇所の確認		
	⑤ 音楽による想像画(2)仕上げる	事前学習	事後学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる	指摘箇所の確認		
	⑥ 個別指導、採点、講評、お面作りの下絵制作	事前学習	事後学習	どんなお面を作るのかを考える	指摘箇所の確認		
	⑦ 紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り	事前学習	事後学習	全体の大きさやボリュームを考える	指摘箇所の確認		
	⑧ 紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る	事前学習	事後学習	立体感を意識して制作する	指摘箇所の確認		
	⑨ 紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作	事前学習	事後学習	細部を工夫する	指摘箇所の確認		
	⑩ 紙粘土によるお面制作(4)修正	事前学習	事後学習	丁寧にひび割れた所を修正する	指摘箇所の確認		
	⑪ 紙粘土によるお面制作(5)着色	事前学習	事後学習	色の組み合わせに注意する	指摘箇所の確認		
	⑫ 紙粘土によるお面制作(6)仕上げ	事前学習	事後学習	違う素材との組み合わせを考える	指摘箇所の確認		
	⑬ 画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター	事前学習	事後学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ	指摘箇所の確認		
	⑭ 画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン	事前学習	事後学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ	指摘箇所の確認		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	事後学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとし、デッサンする	指摘箇所の確認			
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事を目指します。						
成績 評価 の 方法	通常各課題	70%	教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。			
	定期試験	20%		参考資料	「絵画制作・造形」東京書籍 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 及び各解説書		
	授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、 画材、材料を忘れない事も含む)	10%					

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと造形			担当教員	永井 弘人	特別支援教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目指すものである。幼児教育において育みたい資質や能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」の狙い及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程をふまえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現(造形)」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。						
到達目標	1) 幼児の発達の過程やそれに伴い成長していく絵や造形について理解している。 2) 領域「表現」の特性に応じて、様々な保育場面を想定した指導上の留意点を理解している。 3) 領域「表現」に関わる幼児が経験し身につけていく内容の関連性及び小学校の強化とのつながりを理解している。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① オリエンテーション 材料や技法について				事前学習	シラバスの確認をしておく	
					事後学習	道具の用意	
	② 様々な描画技法の演習 モダンテクニック①(コラージュ他)				事前学習	初回に説明した道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	③ 描画体験、絵の具指導法 モダンテクニック②(にじみ、かすれ他)				事前学習	水彩絵の具等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	④ 色づくり体験、絵の具指導法				事前学習	水彩絵の具等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	⑤ 紙を使った造形、見立て遊び指導法				事前学習	はさみ・のり等、道具を持参	
					事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	⑥ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(計画)				事前学習	事前に伝えた自分の担当について計画を立てる	
					事後学習	制作するための素材集め	
	⑦ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(制作)				事前学習	素材を持参	
					事後学習	制作するための素材集め	
⑧ 季節の掲示づくり、廃材制作指導法(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑨ おもちゃづくり、教材開発(計画)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑩ おもちゃづくり、教材開発(制作)				事前学習	素材を持参		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑪ おもちゃづくり、教材開発(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑫ 花飾りのある帽子づくり、立体造形指導法(構想)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
				事後学習	制作するための素材集め		
⑬ 花飾りのある帽子づくり、立体造形指導法(制作)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑭ なりきり帽子づくり、立体造形指導法(制作・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
				事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの内容の復習		
				事後学習	講評のフィードバック		
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 グループ制作や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。 日常から、造形あそびや制作のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけると良い。						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	15%	教科書	無し(必要に応じて資料を配布します。)			
	作品、提出物	40%					
	試験	45%	参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
	2回以上の欠席や、準備物の忘れ、課題未提出がある場合は厳しい評価となります。						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	0.5単位
科目名	あそびと運動 I			担当教員	榎元 ゆう子		幼児体育指導 実務経験有り	
全体目標	・幼児期における「あそび」について教育的価値を理解する							
一般目標	・保育で行う「あそび」を通じ、あそびの楽しさと発達の具体性を学ぶ							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と一緒に「あそび」に対し積極的に参加することが出来る。</li> <li>・「あそび」に興味関心を持ち、理解を深める。</li> <li>・幼児期における「あそび」の重要性を学ぶ。</li> </ul>							
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	オリエンテーション レクリエーション			事前学習	シラバスの考察		
					事後学習	講義内容の確認		
	②	感覚を刺激するあそび			事前学習	前回の復習		
					事後学習	演習内容の復習		
	③	体を動かすことを楽しむあそび			事前学習	前回の復習		
					事後学習	演習内容の復習		
	④	集団あそび			事前学習	前回の復習		
					事後学習	演習内容の復習		
⑤	グループワーク(あそびの指導計画をつくる)			事前学習	前回の復習			
				事後学習	演習内容の復習			
⑥	グループワーク(あそびのシュミレーションを実施)			事前学習	前回の復習			
				事後学習	指導計画立案			
⑦	あそびの発表			事前学習	指導計画立案			
				事後学習	指導計画を見直す			
⑧	試験・まとめ			事前学習	試験内容の確認			
				事後学習	講評の確認			
学習上の留意点	<p>以下のことに留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育者を目指す者としてふさわしい態度・挨拶・返事・言葉遣い・身だしなみを心がけてください。</li> <li>・「あそび」の楽しさを体感できるよう積極的に活動に参加してください。</li> <li>・体を動かします。それにふさわしい服装・髪型で授業に臨んでください。</li> </ul>							
成績評価の方法	・授業参加状況	30%	教科書	特になし				
	・レポート提出	20%		参考資料	「幼児期運動指針」 「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」 プリント配布			
	・定期試験	50%						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	0.5単位
科目名	あそびと運動Ⅱ			担当教員	榎元 ゆう子	幼児体育指導 実務経験有り	
全体目標	・幼児期における「あそび」について教育的価値を理解する						
一般目標	・保育で行う「あそび」を通じ、あそびの楽しさと発達の具体性を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と一緒に「あそび」に対し積極的に参加することが出来る。</li> <li>・「あそび」に興味関心を持ち、理解を深める。</li> <li>・幼児期における「あそび」の重要性を学ぶ。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション レクリエーション	事前学習	シラバスの考察			
			事後学習	講義内容の確認			
	②	「体育」の要素を含んだ運動あそび(マット、平均台)	事前学習	前回の復習			
			事後学習	演習内容の復習			
	③	「体育」の要素を含んだ運動あそび(跳び箱、鉄棒)	事前学習	前回の復習			
			事後学習	演習内容の復習			
	④	指導者の補助、幫助	事前学習	前回の復習			
			事後学習	演習内容の復習			
⑤	「体育」の要素を含んだ運動あそび(サーキット運動)	事前学習	前回の復習				
		事後学習	演習内容の復習				
⑥	手具(ボール、なわ、フープ)を使ったあそび(個人)	事前学習	前回の復習				
		事後学習	演習内容の復習				
⑦	事故、怪我について。安全配慮のついて。	事前学習	前回の復習				
		事後学習	演習内容の復習				
⑧	試験・まとめ	事前学習	試験内容の確認				
		事後学習	講評の確認				
学習上の留意点	<p>以下のことに留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育者を目指す者としてふさわしい態度・挨拶・返事・言葉遣い・身だしなみを心がけてください。</li> <li>・「あそび」の楽しさを体感できるよう積極的に活動に参加してください。</li> <li>・体を動かします。それにふさわしい服装・髪型で授業に臨んでください。</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加状況	30%	教科書	特になし			
	レポート提出	20%		参考資料	「幼児期運動指針」		
	定期試験	50%			「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」 プリント配布		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと音楽 I			担当教員	桐生・卯野・笠木他		ピアノ教室講師として実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	1年生で履修したピアノ実技 I・II の演奏技術から更に高い技能を習得する。 幼児の感性、表現する力、創造性を育む伴奏を理解し、より音楽的な演奏力と表現力を向上させる。							
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業では簡易楽器の奏法を学び、子どもの歌のワークブックから曲の理解を深める。							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	全体ガイダンス・記録票と曲目リストの配布・個人レッスン開始 グループ授業(音程のない打楽器について)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(生活のうた おはようなど) グループ授業(合奏楽器1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(生活のうた おべんとうなど) グループ授業(合奏楽器2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(生活のうた おかえりのうたなど) グループ授業(合奏楽器3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(春のうた 春が来たなど) グループ授業(合奏楽器4)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(春のうた ちょうちょうなど) グループ授業(カスタネットアンサンブル1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(春のうた ぶんぶんぶんなど) グループ授業(カスタネットアンサンブル2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(春のうた めだかのがっこうなど) グループ授業(ミュージックベル1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(夏のうた はをみがきましようなど) グループ授業(ミュージックベル2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(夏のうた あめふりくまのこなど) グループ授業(朝のうた1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(夏のうた しゃぼん玉など) グループ授業(朝のうた2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(夏のうた ありさんのおはなしなど) グループ授業(山の音楽家1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(夏のうた たなばたさまなど) グループ授業(山の音楽家2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・記録票の提出 グループ授業(発表)			事前学習	器楽記録票の点検			
				事後学習	試験曲の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。</li> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>							
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須			教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	グループ授業評価 20%				「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻改訂版」学研プラス			
	平常点 10% (授業参加状況、受講態度、弾き歌い発表)				適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅱ			担当教員	桐生・卯野・笠木他		ピアノ教室講師として実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	より保育現場に即した伴奏方法やレパートリーを習得する。(こどもと音楽Ⅰの合格曲を除く)							
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。グループ授業ではコードネームを理解し、簡易伴奏法を身につける。							
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習			
	①	全体ガイダンス・記録票と曲目リストの配布・個人レッスン開始 グループ授業(コードネームの種類)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(秋のうた タヤけこやけなど) グループ授業(メジャーコード・マイナーコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(秋のうた きのこなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(秋のうた どんぐりころころなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(秋のうた 小ぎつねなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(冬のうた 赤鼻のトナカイなど) グループ授業(オーギュメントコード・ディミニッシュコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(冬のうた お正月など) グループ授業(セブンスコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(冬のうた 雪など) グループ授業(コードの転回)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(冬のうた たき火など) グループ授業(ハ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(卒園のうた 思い出のアルバムなど) グループ授業(ヘ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(卒園のうた ーねんせいになったらなど) グループ授業(ト長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(みんなのうた にじなど) グループ授業(カデンツと伴奏形)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(みんなのうた さんぽなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・器楽記録票の提出 グループ授業(弾き歌い試験曲練習)			事前学習	器楽記録票の点検			
				事後学習	試験曲の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。</li> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>							
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須			教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	グループ授業評価 20%				「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻改訂版」学研プラス			
	平常点 10%				「保育士・幼稚園教諭を目指す人たちのための音楽の基礎と表現―楽典とソルフェージュ―改訂版」ふくろう出版			
	(授業参加状況、受講態度、弾き歌い発表)				適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅲ			担当教員	花井 英一	音楽講師として 実務経験あり	
全体目標	子どもの生活や遊びでの表現活動を受容し、感性や創造性を豊かにする音楽表現を十分発揮させ、個性を伸ばして小学校教育へとつなげることを目指すものである。保育者として、子どもたちの音楽表現活動を支援するための総合的な能力と実践力を高めていく。						
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。幼児の表現の芽生えを受け止めて、幼児が生活の中で幼児らしい様々な表現を楽しむことができるようになるための、のびやかで創造的な音楽表現の援助をおこなうことができる。						
到達目標	乳幼児の成長と表現活動を理解し、表現に対する援助、指導ができる。 子どもの育ちによる声域を考慮した移調奏や、簡易伴奏アレンジの知識と演奏技能を身に付けている。 わらべうたや言葉などを通して総合的表現活動を実践・援助できる保育者をめざす。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容について、乳幼児の育ちと関連付けて理解する。			事前学習 事後学習	教科書P.10-28該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	乳幼児の具体的な姿を事例と映像から理解し、その表現活動について考える。			事前学習 事後学習	教科書P.30-42該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	③	幼児の育ちと音楽的表現活動上の心情や認識、思考について学び、表現に対する援助、指導の方法と留意点を学習する。			事前学習 事後学習	教科書P.30-42該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	④	幼児の育ちによる音楽的表現活動の違いを理解し、表現に対する援助、指導の方法と留意点を学習する。			事前学習 事後学習	教科書P.30-42該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑤	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教育への関連性について考える。			事前学習 事後学習	教科書P.30-42該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑥	三和音の4種類とコードネームの復習(基本形と転回形)。左手による単音伴奏とコード伴奏。属七和音。カデンツ。			事前学習 事後学習	2年生後期の復習資料準備 小テスト	
	⑦	左手による単音伴奏やコード伴奏で「幼児の歌」を弾きましょう。ぞうさん・とけいのうた・アイアイ他(弾き歌い)			事前学習 事後学習	音楽の基礎と表現P87-90 実技試験	
	⑧	いろんな調のカデンツを暗譜で弾こう。キラキラ星・メリーさんのひつじの移調奏(弾き歌い)。コードネームを調べてみよう。			事前学習 事後学習	音楽の基礎と表現P91&100-102 実技試験	
	⑨	「幼児の歌とあそび」のコードネームを調べて、簡易伴奏で弾いてみよう。楽譜を作成して提出。			事前学習 事後学習	音楽の基礎と表現P103-106 個人練習	
	⑩	「幼児の歌」のコードネームを調べて、簡易伴奏で弾いてみよう。弾き歌い実技試験。			事前学習 事後学習	提出楽譜準備 実技試験	
	⑪	お話と音楽。①お話(言葉・オノマトペ・わらべうた)をグループで創作し、ピアノによる音楽や歌を付けて発表する。題材決定。			事前学習 事後学習	資料準備・教科書P102-107読込 創作振り返り	
	⑫	お話と音楽。②お話の創作と情景音楽、歌の作詞作曲。楽器を使って音をつけるかなど工夫する。役割も決める。			事前学習 事後学習	資料準備 創作振り返り	
	⑬	お話と音楽。③お話の作品仕上げと、発表練習。子どもたちを意識した演出を考える。台本・楽譜の提出。			事前学習 事後学習	演出企画と台本・楽譜 発表練習	
	⑭	お話と音楽。④お話の発表。「お話と音楽」が総合的表現活動として捉えられていたか。			事前学習 事後学習	発表 学習ポートフォリオによる振り返り	
⑮	学習のまとめを行い、自己評価により、幼児の表現活動の理解や援助、総合的な音楽表現の学習ができていたかを振り返る。			事前学習 事後学習	学習してきた単元についての確認 学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多く行うため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。 授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外で行うこと。 ピアノ演奏や歌唱の実技は、いつも子どもの音楽表現活動を想定し、演奏できるよう練習に取り組む。						
成績評価の方法	受講態度、授業参加状況(グループワークも含む)30% 提出物、小テスト、実技試験、発表70% 以上の総合評価とする			教科書	「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林 「音楽の基礎と表現」楠井淳子著ふくろう出版 「幼児のうたとあそび」みらい プリント教材		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅳ			担当教員	花井 英一	音楽講師として 実務経験あり	
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。						
一般目標	子どもの発達と音楽表現活動を理解し、感性や創造性を豊かにする音楽表現や環境などを援助、実践できる能力を習得する。						
到達目標	子どもの生活や遊びにおける領域「表現」のねらい及び内容を理解している。 子どもの想像力や表現活動を育み、援助できる総合的表現活動を実践できる技能を身に付けている。 楽しく音楽表現活動を広げてくれる楽器の取扱・奏法から合奏までの実践力を身に付けている。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容理解、遊びと生活の中の様々な音楽表現について理解する。			事前学習 事後学習	教科書P.128-133該当箇所読込 学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	子どもがよく使う簡易楽器について、取扱と注意点、奏法を復習し、子どもたちが楽器の演奏を楽しめる方法を学習する。			事前学習 事後学習	1年後期の資料用意予習する 個人練習	
	③	幼児の育ちを考慮した編曲・編成された曲を実際に演奏することにより、演奏の楽しさや指導上の注意点を学習する。			事前学習 事後学習	教科書P.10-64該当箇所読込 個人練習	
	④	「幼児のうた」の器楽合奏合唱奏のアレンジと楽譜作成をする。楽器の音色や役割と、表現について学習する。			事前学習 事後学習	教科書P.82-87該当箇所読込 見直し	
	⑤	アレンジ曲の練習と見直し。合奏表現を練り上げる過程を通して、子どもたちが興味を持って楽しむことができるかを考える。			事前学習 事後学習	発表会へ向けての企画を考える 見直し	
	⑥	発表会に向けて、役割分担、プログラム作成、ステージ設定、誘導など様々な仕事や経過について理解を深める。(進行表)			事前学習 事後学習	個人練習 個人練習	
	⑦	リハーサル。楽器や譜面台のセッティング、入場から演奏、退場までの流れのチェック。見直しと修正。			事前学習 事後学習	リハーサル準備 修正事項の確認	
	⑧	グループ発表。発表グループ以外の人は園児と聴衆役に分かれる。子どもの感じ方を中心に自己評価・相互評価を行う。			事前学習 事後学習	発表会の準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑨	トーンチャイムの取扱と準備することを、メロディーだけの演奏と和音伴奏付の場合について学習する。			事前学習 事後学習	トーンチャイムの演奏法 学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑩	オリジナル手遊び歌作り。好きな手遊びや既存のメロディーを選び、そこにオリジナルの歌詞を作成。(オリジナル曲も可)			事前学習 事後学習	資料準備 創作	
	⑪	手遊び歌絵本づくり。タイトル、絵、メロディー譜を付けること、子どもたちの前で手遊び歌を演じることを想定。			事前学習 事後学習	資料準備 創作	
	⑫	作成した絵本に手遊び歌をつけて振りや音作りを考える。簡単な楽器を使って音をつけるかなど工夫する。			事前学習 事後学習	資料準備 創作	
	⑬	子どもたちを前にどのように実践するのかよく考え、計画する。子どもの発達と音楽表現を意識して計画書を作成提出する。			事前学習 事後学習	演出企画 発表練習	
	⑭	発表グループ以外の学生は園児役になって発表。音楽表現活動を総合的表現活動として捉えられていたか。			事前学習 事後学習	発表準備 学習ポートフォリオによる振り返り	
⑮	学習のまとめを行い、幼児の表現活動を理解し、援助・実践できる技能を高め得る学習ができていたかを自己評価する。			事前学習 事後学習	学習してきた単元についての確認 学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動時は特に他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。 授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外で行うこと。 ピアノ演奏や歌唱の実技は、いつも子どもの音楽表現活動を想定し、演奏できるよう練習に取り組む。						
成績評価の方法	受講態度、授業参加状況(グループワークも含む)40% 提出物、実技テスト、小テスト、発表 60% 以上の総合評価とする			教科書	「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林 「音楽の基礎と表現」楠井淳子著ふくろう出版 「幼児のうたとあそび」みらい プリント教材		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現技術演習(身体)			担当教員	榎元 ゆう子	幼児体育指導 実務経験有り	
全体目標	表現運動を体験しそれを楽しめるよう基礎的な知識、体の動かし方を学ぶ。 音に慣れる、音に合わせるなど音や音楽を使用することで体の発達、運動神経の発達を促すことを知る。						
一般目標	運動が、幼児期の発育発達を促すこと意識し楽しめながら指導することを学ぶ。						
到達目標	1. 幼児の発達に応じた指導法を学ぶ。 2. 音に親しみを持ち、体を動かす楽しさを体感する。 3. 指導することを想定し、実際に指導内容を考案し、実践する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション・音、リズムの導入の効果について			事前学習 事後学習	シラバスの確認 内容の確認	
	②	「音」を聞く「音」で遊ぶ 手あそび指あそび 音を体で表現してみよう リズムあそび			事前学習 事後学習	前回実技復習 内容確認	
	③	「音」を使った体操、リズムあそび、音あそび リズムあそびの実践、指導方法を学ぶ			事前学習 事後学習	前回実技復習 内容確認	
	④	「音」を使った体操、リズムあそび、音あそび 手具(ボール/なわ)を使った指導方法			事前学習 事後学習	前回実技復習 内容確認	
	⑤	グループワーク(音を使った体操の作成)			事前学習 事後学習	前回実技復習 内容確認	
	⑥	グループワーク(動きの確認、覚える)			事前学習 事後学習	前回実技復習 内容確認	
	⑦	グループワーク(リズム体操を完成させる)			事前学習 事後学習	前回実技復習 作品振付確認	
	⑧	リズム体操発表会			事前学習 事後学習	作品振付確認 作品の感想、反省	
	⑨	遊戯模擬・隊形移動方法を学ぶ。			事前学習 事後学習	お遊戯をしてみる 内容の確認、復習	
	⑩	グループワーク(お遊戯の振付を考える)			事前学習 事後学習	振付を考える 振付の確認	
	⑪	グループワーク(振付の確認)			事前学習 事後学習	振付を考える 振付の確認	
	⑫	グループワーク(振付を覚える)			事前学習 事後学習	前回実技確認 内容確認	
	⑬	グループワーク(作品を完成させる)			事前学習 事後学習	前回実技確認 内容確認	
	⑭	作品発表			事前学習 事後学習	振付、動きの確認 作品の最終確認	
⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	試験練習 まとめ		
学習上の留意点	服装:パーカーなどフード付きは不可。スカート不可。運動時にふさわしい服装で参加すること。 室内用運動靴、タオル、水分(水、またはお茶)、ノートまたはルーゼリーフ等(各自で準備)、筆記用具持参 髪が肩にかかる場合は結ぶ(飾りのないゴムで)※怪我防止のため。健康管理に注意し、授業に参加する。 指導者として模範が示せる実技を習得する。						
成績評価の方法	定期試験50% リズム運動作品発表20% 授業参加状況(レポート含む)10% 授業態度(服装、髪型含む)20%			教科書	特に指定なし		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼児期運動指針」「幼児期運動指針実践ガイド」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位	
科目名	保育実習 I (児童福祉施設)			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設での体験的な学びの中で入所児者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。</li> <li>施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。</li> <li>実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。</li> </ul>							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育実習指導 I (施設)やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。</li> <li>入所児者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。</li> </ul>							
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>実習の期間</b> 後期の定期試験終了後から3月末まで(春休み)の期間に、宿泊実習の場合は8泊10日、通いの実習の場合は10日間実施。</li> <li><b>実習の内容</b> 入所児者や利用者の生活支援を主とした実習を行う。 施設により、指導実習(部分)や宿直体験を行うこともある。</li> <li><b>事前訪問</b> 後期の教育実習 I 終了後から順次開始。 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や利用者、職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。</li> <li><b>実習施設巡回指導</b> 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 施設の実習担当者と教員が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。</li> <li><b>事後訪問</b> 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。</li> </ul>							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。</li> <li>実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> </ul> <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> <li>最終的には保育実習 I (施設実習・第一回保育所実習)および保育実習指導 I の授業を合わせて評価する</li> </ul>			教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育・保育実習テキスト」</li> <li>「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」</li> <li>愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい</li> </ul>			
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保育所保育指針」</li> <li>「保育所保育指針解説」</li> </ul>			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (児童福祉施設等)			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	・保育実習 I (施設)とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。						
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。						
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 保育実習の意義～実習の目的～	事前学習	教科書P.10～P.12	予習	事後学習 実習の目的の復習		
	② 保育実習の意義～実習の概要～	事前学習	教科書P.12～P.14	予習	事後学習 実習の概要の復習		
	③ 実習の内容	事前学習	教科書P.34～P.42	予習	事後学習 各指導、支援の意味や意図の復習		
	④ 実習課題の明確化	事前学習	教科書P.23～P.24	予習	事後学習 課題設定の整理		
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～	事前学習	人権、最善の利益の意味調べ		事後学習 子ども・利用者の最善の利益の復習		
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～	事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ		事後学習 施設での守秘義務の意味と重要性の復習		
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～	事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える	予習	事後学習 自らの課題と目標の整理		
	⑧ 施設実習とは	事前学習	教科書第5章、第6章該当部分	予習	事後学習 養護系、障害系の施設の復習		
	⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解	事前学習	教科書P.14～P.18	予習	事後学習 実習施設について調べる		
	⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について	事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33	予習	事後学習 各実習グループでの打ち合わせ		
	⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ	事前学習	「朋」施設実習を考える		予習	事後学習 「朋」を読んで感想をまとめる	
	⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え	事前学習	教科書P.28～P.32	予習	事後学習 施設実習計画書の作成		
	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方	事前学習	教科書P.44～P.51	予習	事後学習 記録の書き方の整理及び復習		
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～	事前学習	教科書P.120～P.124	予習	事後学習 実習に向けての目標及び課題確認		
⑮ 定期試験・講評	事前学習	これまでの学びの復習及び確認		事後学習 講評の内容の整理と把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気づき、身に付くように努力すること。</li> <li>・教科書・朋を毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。</li> <li>・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。</li> <li>・提出物は期限を厳守し、発表する時は責任を持って行うこと。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 50%</li> <li>・提出物 50%</li> </ul>			教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい</li> </ul>		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。			参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習 I (保育所)			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育を理解する。また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育を理解をする。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。</li> </ul>						
授業のながれ	[ 授 業 内 容 ]						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 前期 5月に2週間実施。</li> <li>・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。</li> <li>・事前訪問 実習開始の約3～4週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。</li> </ul>						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会的なマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・能動的に実習に取り組む。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> </ul> <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> </ul>			教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・保育実習テキスト」</li> <li>・「保育所保育指針」</li> <li>・「保育所保育指針解説」</li> </ul>		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習関係書類</li> </ul>		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (保育所)			担当教員	荒木 美恵		保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、実習に必要なことを学ぶ。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解する。</li> <li>・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解する。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を理解する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解して、実習にのぞむ。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を記入できる。</li> </ul>							
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	発達段階の復習		
					事後学習	メモを取る		
	②	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る		
					事後学習	メモを取る		
	③	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る		
					事後学習	メモを取る		
	④	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る		
					事後学習	実習記録記入		
	⑤	オリエンテーション 実習の概要 実習の意義			事前学習	実習記録記入・見直し		
					事後学習	授業内容の復習		
	⑥	保育所保育の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容の復習		
	⑦	保育所保育 養護と教育の一体化の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容の復習		
⑧	実習記録の記入 (1)毎日の実習(保育の流れ)書き方			事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
				事後学習	授業内容の復習			
⑨	実習記録の記入 (2)毎日の実習(保育の流れ)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
				事後学習	記録の記入			
⑩	実習記録の記入 (3)場面記録			事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
				事後学習	記録の記入			
⑪	保育教材研究・実習準備			事前学習	個人票の書き方の復習			
				事後学習	個人票・実習生の目標の検討			
⑫	実習記録の記入 (4)指導計画の書き方			事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
				事後学習	指導計画の立案			
⑬	実習記録の記入 (5)指導計画立案			事前学習	指導計画の立案			
				事後学習	指導計画の記入			
⑭	実習の注意(人権保育・守秘義務・最善の利益・心構え)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
				事後学習	授業内容の復習			
⑮	試験とまとめ			事前学習	授業の復習			
				事後学習	試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。</li> <li>・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。</li> <li>・課題・提出物は、期限厳守。授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。</li> </ul>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験60%</li> <li>・平常点(授業参加状況・参加姿勢・提出物)40%</li> </ul>			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」			
				参考資料	「0・1・2歳児の子ども姿ベースの指導計画」フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅱ			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。 実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育と保育所の役割を理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育者の役割を理解をする。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割を理解できる。</li> <li>・保育に必要な基礎的な技術を身に付ける。</li> <li>・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。</li> </ul>						
	[ 授 業 内 容 ]						
授 業 の な が れ	<p>8月～9月に2週間実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。</li> <li>・事前訪問 夏休み前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。</li> </ul>						
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会的マナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・能動的に実習に取り組む。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> <li>・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> </ul> <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>						
成 績 評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> </ul>			教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・保育実習テキスト」</li> <li>・「保育所保育指針」</li> <li>・「保育所保育指針解説」</li> </ul>		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習関係書類</li> </ul>		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅱ			担当教員	荒木 美恵	保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。・実習事後指導を通して自己評価をおこない、自らの課題を明確にする。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。</li> <li>・保育者の専門性と職業倫理について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。</li> <li>・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。</li> <li>・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	発達段階の復習	
					事後学習	メモを取る	
	②	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	③	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	④	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	実習記録記入	
	⑤	乳児保育の理解① - 赤ちゃん実習での考察 -			事前学習	実習記録記入・見直し	
					事後学習	授業内容の復習	
	⑥	乳児保育の理解② - 実践から学ぶ -			事前学習	乳児発達の理解を深める	
					事後学習	授業内容の復習	
	⑦	実習記録の記入 (1) 指導計画			事前学習	指導準備・計画作成	
					事後学習	指導計画検討	
⑧	実習記録の記入 (2) 指導計画 実習の諸注意			事前学習	指導準備・計画作成		
				事後学習	指導計画検討		
⑨	事後指導 (1) 振り返りと経験交流			事前学習	実習について振り返りと考察		
				事後学習	意見交流		
⑩	事後指導 (2) 課題の明確化			事前学習	課題の明確化と考察・改善		
				事後学習	意見交流		
⑪	事後指導 (3) 事例検討			事前学習	エピソード記録の考察		
				事後学習	意見交流		
⑫	事後指導 (4) 実践から学ぶ			事前学習	乳児保育・保育園の理解を深める		
				事後学習	意見交流		
⑬	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解			事前学習	子どもの最善の利益について考える		
				事後学習	子どもの最善の利益について理解を深める		
⑭	保育士の専門性と職業倫理・危機管理			事前学習	保育士の倫理・危機管理について考える		
				事後学習	授業内容の復習		
⑮	試験とまとめ			事前学習	授業の復習		
				事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。</li> <li>・重要な箇所自分で線を引いたり、追記したりすること。</li> <li>・課題・提出物は、期限厳守。授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 60%</li> <li>・平常点(授業参加状況・参加姿勢・提出物) 40%</li> </ul>			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
				参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育実践演習			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	養成段階である学びの場から、間もなく保育者となる学生が、自分を見つめ現状と課題を明確にする。						
一般目標	①課題の解決方法を把握し、課題に対して適切な方法を用いて、解決できる力を身につける。 ②保育や子どもに関する現状の分析や考察を行う。 ③保育者として学びを振り返り、習得した知識や技能を確認する。						
到達目標	乳幼児期の子どもたちを支える保育者として、今後の見通しや何をすべきかを明確にする。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	保育実践演習の目的とは			事前学習	これまでの学修を振り返る	
					事後学習	この授業の目的を再確認する	
	②	研究テーマの探索			事前学習	これまでの実習での出来事を振り返る	
					事後学習	身近なものからテーマを探してみる	
	③	研究テーマの絞り込み			事前学習	テーマの候補をいくつか挙げておく	
					事後学習	テーマを仮定する	
	④	調査方法の検討			事前学習	調査方法について教科書で確認しておく	
					事後学習	自分自身のテーマにあった調査方法を考える	
	⑤	研究の中間報告			事前学習	研究テーマを決定する	
					事後学習	研究の構想を練る	
	⑥	発表準備について			事前学習	発表準備について教科書で確認する	
					事後学習	発表の準備に必要なものを確認する	
	⑦	発表資料の作成について －先行研究の分析・検討－			事前学習	先行研究を探す	
					事後学習	見つけた先行研究を分析する	
⑧	発表資料の作成について －発表資料の構成－			事前学習	全体の構成を確認する		
				事後学習	発表の方法を考える		
⑨	発表資料の作成について －発表資料の流れ－			事前学習	発表資料を作成する		
				事後学習	小見出しや全体のまとまりを確認する		
⑩	発表資料の作成 －発表の方法・注意点－			事前学習	発表資料を見直す		
				事後学習	わかりやすい発表の仕方を考える		
⑪	発表資料の作成 －発表資料の配布・発表当日の流れ－			事前学習	発表について不明な点がないか確認する		
				事後学習	発表資料の印刷・発表の練習		
⑫	口頭発表(1) 保育士の意義や倫理観等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑬	口頭発表(2) 子どもを取り巻く環境や社会性等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑭	口頭発表(3) 子どもや家庭の理解、子育て支援等に関するテーマ			事前学習	発表の練習		
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す		
⑮	試験とまとめ			事前学習	発表を振り返る・教科書を読み復習する		
				事後学習	この授業での学びを振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究を進める中で本来の保育実践演習の目標を見失わない。</li> <li>・発表資料はパソコンで作成すること。(手書きは禁止)</li> <li>・提出物の期限は必ず守ること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験 30%</li> <li>・口頭発表 40%</li> <li>・受講態度 30%</li> </ul>			教科書			
				参考資料	「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「保育所保育指針解説」		

\_\_\_\_\_ コース 年 組 \_\_\_\_\_ 番

氏名 \_\_\_\_\_